



Cisco UCS C シリーズ サーバと Cisco UCS Manager 4.2 の統合ガイド

初版：2021年6月24日

最終更新：2023年1月9日

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at www.cisco.com/go/offices.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: [www.cisco.com go trademarks](http://www.cisco.com/go/trademarks). Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2021–2023 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



目次

はじめに :

はじめに	vii
対象読者	vii
表記法	vii
Cisco UCS の関連資料	ix
マニュアルに関するフィードバック	ix

第 1 章

Cisco UCS C シリーズと Cisco UCS Manager との統合	1
概要	1
C シリーズ ラックマウント サーバと Cisco UCS Manager との統合	2
FEX の接続モードと検出	5
FEX アップリンクの数に基づき設定可能な vNIC/vHBA の最大数	6
サポートされる C シリーズ サーバとアダプタ カード	7
ネットワーク トポロジとサポート対象ケーブル	9
サポートされる RAID/ストレージコントローラ コンフィギュレーション	14
サポートされる FlexFlash コンフィギュレーション	21
Cisco Nexus スイッチの 93180YC-FX3 FEX への変換	21
Cisco UCS Manager での 93180YC-FX3 FEX の検出	22

第 2 章

SingleConnect の設定	25
SingleConnect	26
SingleConnect の重要なガイドライン	26
管理接続ポリシーと接続モード	26
接続モードの手動認識 : GUI	27
接続モードの手動認識 : CLI	27

SingleConnect を Cisco UCS Manager と統合するための要件	28
混合 VIC セットアップ用 Cisco UCS Manager 管理	35
混合 VIC セットアップ用 Cisco UCS Manager 管理	35
Cisco UCS Manager Management for Mixed VIC Set-up in C240 M5 Server	36
C220 M6 サーバーでの混合 VIC セットアップのための Cisco UCS Manager 管理	38
C240 M6 サーバの混合 VIC セットアップ用 Cisco UCS Manager 管理	40
C225 M6 サーバーでの混合 VIC セットアップのための Cisco UCS Manager 管理	42
C245 M6 サーバーでの混合 VIC セットアップのための Cisco UCS Manager 管理	44
C シリーズ サーバと Cisco UCS ドメインとのクラスタ セットアップでの接続	46
SingleConnect のクラスタ セットアップの物理的な接続の図	47
C シリーズ サーバと UCS ドメインとの非クラスタ セットアップでの接続	49
Physical Connectivity Illustrations for SingleConnect Non-Cluster Setup	51
統合後の Cisco UCS Manager でのラックマウント型サーバの管理	52
サーバを Cisco UCS ドメイン モードからスタンドアロン モードへ戻す方法	53
統合型サーバに関する特記事項	53
FEX の考慮事項	54
Cisco VIC 1455 および 1457 の接続性	54
Cisco VIC 1467 および VIC 15428 の接続性	54

第 3 章

直接接続の設定 55

直接接続モード	55
Cisco UCS Manager との直接接続モードでの統合の要件	56
混合 VIC セットアップ用 Cisco UCS Manager 管理	61
混合 VIC セットアップ用 Cisco UCS Manager 管理	62
Cisco UCS Manager Management for Mixed VIC Set-up in C240 M5 Server	62
C220 M6 サーバーでの混合 VIC セットアップのための Cisco UCS Manager 管理	64
C240 M6 サーバの混合 VIC セットアップ用 Cisco UCS Manager 管理	66
C225 M6 サーバーでの混合 VIC セットアップのための Cisco UCS Manager 管理	68
C245 M6 サーバーでの混合 VIC セットアップのための Cisco UCS Manager 管理	70
管理接続ポリシーと接続モード	72
C シリーズ サーバと Cisco UCS ドメインとのクラスタ セットアップでの接続	73

直接接続モードのクラスタ セットアップの物理的な接続の図	74
C シリーズ サーバと UCS ドメインとの非クラスタ セットアップでの接続	77
Physical Connectivity Illustrations for Direct Connect Mode Non-Cluster Setup	78
SingleConnect から直接接続モードへの C シリーズ サーバの移行	79
デュアルワイヤ管理から直接接続モードへの C シリーズ サーバの移行	79
統合後の Cisco UCS Manager でのラックマウント型サーバの管理	81
サーバを Cisco UCS ドメイン モードからスタンドアロンモードへ戻す方法	81
統合型サーバに関する特記事項	82
VIC 1455、VIC 1457 または VIC 1467 アダプタと UCS 6300 ファブリック インターコネク ト間の単一リンク ポート チャネル	82

第 4 章

デュアルワイヤ管理の設定	83
デュアルワイヤ管理	83
Cisco UCS Manager とのデュアルワイヤ統合の要件	83
C シリーズ サーバと Cisco UCS ドメインとのクラスタ セットアップでの接続	87
クラスタ セットアップの物理的な接続の図	88
C シリーズ サーバと UCS ドメインとの非クラスタ セットアップでの接続	90
統合後の Cisco UCS Manager でのラックマウント型サーバの管理	91
サーバを Cisco UCS ドメイン モードからスタンドアロンモードへ戻す方法	91
統合型サーバに関する特記事項	92
サポートされている FEX-to-FI のアップリンク ケーブルの SFP タイプ	92
統合されたサーバの電源の状態とサービス プロファイルの電源の状態	92
アダプタ カードの注意事項と制約事項	93
FEX の考慮事項	93

第 5 章

アップグレードに必要な項目	95
C シリーズ サーバのファームウェアのアップグレード	96
統合サーバでの Cisco UCS VIC ファームウェアと uboot イメージの更新	100
リリース 3.1 以降への構成の移行	102

第 6 章

トラブルシューティング	105
--------------------	------------

Cisco UCS Manager で統合された C シリーズ サーバのハードウェア コンポーネントの交換
105

サーバ接続の変更 106



はじめに

- [対象読者](#) (vii ページ)
- [表記法](#) (vii ページ)
- [Cisco UCS の関連資料](#) (ix ページ)
- [マニュアルに関するフィードバック](#) (ix ページ)

対象読者

このガイドは、次の1つ以上に責任を持つ、専門知識を備えたデータセンター管理者を主な対象にしています。

- サーバ管理
- ストレージ管理
- ネットワーク管理
- ネットワーク セキュリティ

表記法

テキストのタイプ	説明
GUI 要素	タブの見出し、領域名、フィールドのラベルのような GUI 要素は、 [GUI 要素] のように示しています。 ウィンドウ、ダイアログボックス、ウィザードのタイトルのようなメインタイトルは、 [メインタイトル] のように示しています。
マニュアルのタイトル	マニュアルのタイトルは、イタリック体 (<i>italic</i>) で示しています。
TUI 要素	テキストベースのユーザ インターフェイスでは、システムによって表示されるテキストは、courier フォントで示しています。

テキストのタイプ	説明
システム出力	システムが表示するターミナルセッションおよび情報は、courier フォントで示しています。
CLI コマンド	CLI コマンドのキーワードは、 this font で示しています。 CLI コマンド内の変数は、このフォントで示しています。
[]	角カッコの中の要素は、省略可能です。
{x y z}	どれか1つを選択しなければならない必須キーワードは、波カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
[x y z]	どれか1つを選択できる省略可能なキーワードは、角カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
string	引用符を付けない一組の文字。string の前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めて string とみなされます。
<>	パスワードのように出力されない文字は、山カッコで囲んで示しています。
[]	システム プロンプトに対するデフォルトの応答は、角カッコで囲んで示しています。
!, #	コードの先頭に感嘆符 (!) またはポンド記号 (#) がある場合には、コメント行であることを示します。



(注) 「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。



ヒント 「問題解決に役立つ情報」です。ヒントには、トラブルシューティングや操作方法ではなく、ワンポイントアドバイスと同様に知っておくと役立つ情報が記述される場合もあります。



ワンポイントアドバイス 「時間の節約に役立つ操作」です。ここに紹介している方法で作業を行うと、時間を短縮できます。



注意 「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。

**警告** 安全上の重要事項

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止策に留意してください。各警告の最後に記載されているステートメント番号を基に、装置に付属の安全についての警告を参照してください。

これらの注意事項を保管しておいてください。

Cisco UCS の関連資料

ドキュメント ロードマップ

すべての B シリーズ マニュアルの完全なリストについては、次の URL で入手可能な『*Cisco UCS B-Series Servers Documentation Roadmap*』を参照してください。 https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/unified_computing/ucs/overview/guide/UCS_roadmap.html

すべての C-Series マニュアルの完全なリストについては、次の URL で入手可能な『*Cisco UCS C-Series Servers Documentation Roadmap*』を参照してください。 https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/unified_computing/ucs/overview/guide/ucs_rack_roadmap.html

管理用の UCS Manager に統合されたラック サーバでサポートされるファームウェアと UCS Manager のバージョンについては、『[Release Bundle Contents for Cisco UCS Software](#)』 [英語] を参照してください。

その他のマニュアル リソース

ドキュメントの更新通知を受け取るには、 [Cisco UCS Docs on Twitter](#) をフォローしてください。

マニュアルに関するフィードバック

このマニュアルに関する技術的なフィードバック、または誤りや記載漏れに関する報告は、 ucs-docfeedback@external.cisco.com に送信してください。ご協力をよろしくお願いいたします。



第 1 章

Cisco UCS C シリーズと Cisco UCS Manager との統合

この章は、次の内容で構成されています。

- 概要 (1 ページ)
- C シリーズ ラックマウント サーバと Cisco UCS Manager との統合 (2 ページ)
- FEX の接続モードと検出 (5 ページ)
- FEX アップリンクの数に基づき設定可能な vNIC/vHBA の最大数 (6 ページ)
- サポートされる C シリーズ サーバとアダプタ カード (7 ページ)
- ネットワーク トポロジとサポート対象ケーブル (9 ページ)
- サポートされる RAID/ストレージコントローラ コンフィギュレーション (14 ページ)
- サポートされる FlexFlash コンフィギュレーション (21 ページ)
- Cisco Nexus スイッチの 93180YC-FX3 FEX への変換 (21 ページ)

概要

このマニュアルでは、Cisco UCS Manager と統合する Cisco UCS ラックマウント サーバのインストールに関する情報とその手順について説明します。

Cisco UCS C シリーズ ラックマウント サーバは、組み込みのスタンドアロンソフトウェアである Cisco Integrated Management Controller (CIMC) によって管理します。Cisco UCS Manager と C シリーズ ラックマウント サーバを統合すると、Cisco IMC ではサーバを管理しないようになります。代わりに、Cisco UCS Manager ソフトウェアで管理されています。Cisco UCS Manager GUI または Cisco UCS Manager CLI を使用してサーバを管理します。



重要 サーバが新規でない場合は、Cisco UCS Manager とサーバを統合する前に、Cisco IMC を工場出荷時の設定にリセットしてください。ご使用のリリースの『*Cisco UCS C-Series Integrated Management Controller GUI Configuration Guide*』の「[Server Utilities](#)」の章を参照して、サーバを工場出荷時のデフォルト設定にリセットしてください。

Cisco UCS C シリーズ ラックマウント サーバと Cisco UCS Manager は次のいずれかの設定で統合できます

- **クラスタ設定** : 二つのファブリック インターコネク ト (FIs) または、二つの FI と一緒の二つのファブリックエクステンダ (FEXes) をCシリーズラックマウントサーバを接続するために使用します。
- **非クラスタ設定** : 二つのファブリック インターコネク ト (FIs) または、二つの FI と一緒の二つのファブリックエクステンダ (FEXes) をCシリーズラックマウントサーバを接続するために使用します。



- (注) Cisco UCS C シリーズ ラックマウント サーバと Cisco UCS Manager の統合の場合、Cisco VIC アダプタは、サードパーティ製スイッチではなく、Cisco UCS ファブリック インターコネク トにのみ接続できます。

Cisco UCS Manager と統合する Cisco UCS S シリーズ ラック マウント サーバについては、特定のリリースの『[Cisco UCS S3260 Server Integration with Cisco UCS Manager](#)』ガイドを参照してください。

C シリーズ ラックマウント サーバと Cisco UCS Manager との統合

Cisco UCS Manager では、Cisco UCS C シリーズ ラックマウント サーバ 管理のため 3 つの接続モードがあります。接続モードは次のとおりです。

- **[直接接続モード (Direct Connect Mode)]** : このモードでは、C シリーズラックマウントサーバからの Cisco UCS VIC は、ファブリック インターコネク トに直接接続します。管理トラフィックとデータ トラフィックの両方が、VIC から FI に、またはその逆に通過します。
- **SingleConnect (サイドバンド)** : このモードでは、C シリーズラックマウントサーバからの Cisco UCS VIC が FEX に接続し、次にファブリック インターコネク トに接続します。管理トラフィックとデータ トラフィックの両方が VIC から FEX および FI に渡されます。
- **デュアルワイヤ管理 (共有 LOM)** : このモードでは、C シリーズラックマウントサーバからのマザーボード (LOM) ポートの共有 ローカル エリア ネットワーク (LAN) が、管理トラフィック用に FEX に接続します。Cisco UCS VIC は、データ トラフィック用の FI に接続します。



- (注) Cisco UCS C125 M5 サーバすべての LOM ポートは含まれません。

Cisco UCS Manager とデュアルワイヤを統合するための一般的な前提条件は、C シリーズ ラックマウント サーバ CIMC リリース 1.4(6) 以降に組み込まれています。SingleConnect または直接接続モードを使用するには、次の要件を満たす必要があります。

- Cisco UCS VIC 1225 仮想インターフェイス カード
- Cisco UCS VIC 1227 (MLOM)
- Cisco UCS VIC 1225T 仮想インターフェイス カード
- Cisco UCS VIC 1227T (MLOM)
- Cisco UCS VIC 1387 (MLOM)
- Cisco UCS VIC 1385
- Cisco UCS VIC 1455 (および M5 と M6 サーバーでサポート)
- Cisco UCS VIC 1457 (MLOM) (C220 M5 および C240 M5 サーバーでのみサポート)
- Cisco UCS VIC 1495 (および M5 と M6 サーバーでサポート)
- Cisco UCS VIC 1497 (MLOM) (C220 M5 および C240 M5 サーバーでのみサポート)
- Cisco UCS VIC 1467 (MLOM) (C220 M6、C240 M6、C225 M6、および C245 M6 サーバーでのみサポート) servers)
- Cisco UCS VIC 1477 (MLOM) (C220 M6、C240 M6、C225 M6、および C245 M6 サーバーでのみサポート) servers)



(注) 最新のサポート マトリックスについては、[Cisco UCS マネージャ リリース 4.2 のリリース ノート](#)を参照してください。

- Cisco UCS VIC 1467 または 1477 シリーズ アダプタは、Cisco UCS 6200 シリーズ ファブリック インターコネクトでは使用できません。
- Cisco UCS C460 M4 サーバー、Cisco UCS C125 M5 サーバs、Cisco UCS C480 M5 サーバs とCisco UCS C480 M5 ML サーバ-s は MLOM アダプタをサポートしていません。

次の表は、C シリーズ ラックマウント サーバ およびサポートされる管理オプションの一覧です。



(注) デュアルワイヤ管理は Cisco VIC アダプタでのみサポートされており、サードパーティ製アダプタではサポートされていません。

表 1: サポートされる管理オプション

サーバ	シングル接続	直接接続モード	デュアルワイヤ管理
Cisco UCS C220 M4 サーバ	はい	はい	はい
Cisco UCS C240 M4 サーバ	はい	はい	はい
Cisco UCS C460 M4 サーバ	はい	はい	はい
Cisco UCS C220 M5 サーバ	はい	はい	はい
Cisco UCS C240 M5 サーバ	はい	はい	はい
Cisco UCS C240 SD M5 サーバ	はい	はい	はい
C480 M5 および C480 M5 ML サーバ	はい	はい	はい
Cisco UCS C125 M5 サーバ	はい	はい	いいえ
Cisco UCS C220 M6サーバ	はい	はい	はい
Cisco UCS C240 M6サーバ	はい	はい	はい
Cisco UCS C225 M6サーバ	はい	はい	いいえ
Cisco UCS C245 M6サーバ	はい	はい	いいえ

使用しているサーバモデルと CIMC のバージョンに基づき、3つの統合オプションのいずれかを使用して、ラックサーバと Cisco UCS Managerを接続できます。

Cisco UCS Manager ファブリック インターコネクト (FI) 内で動作します。Cisco UCS Manager の以前のリリースを使用している場合は、ファブリック エクステンダを使用して C シリーズサーバとファブリック インターコネクトを接続し、Cisco UCS Manager での管理を有効にする必要があります。サーバアダプタとファブリック インターコネクトは、ファブリック エクステンダを使用しないで直接接続できます。

この管理サービスで使用できるインターフェイスのいずれかを使用して、ファブリック インターコネクタに接続されたシャーシすべてのネットワークおよびサーバリソースにアクセスしたり、これらを設定、管理、およびモニタしたりすることができます。Cisco UCS 6400 シリーズファブリック インターコネクタ、Cisco UCS 6300 シリーズのファブリック インターコネクタ、または Cisco UCS 6200 シリーズファブリック インターコネクタに関する質問については、次のリンク先にあるマニュアルを参照してください。

- [Cisco UCS 6500 シリーズ ファブリック インターコネクタ マニュアル](#)
- [Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクタ マニュアル](#)
- [Cisco UCS 6300 シリーズ ファブリック インターコネクタ マニュアル](#)
- [Cisco UCS 6200 シリーズ ファブリック インターコネクタ マニュアル](#)

この構成における Cisco Nexus 2232PP、Cisco Nexus 2232TM-E、または Cisco Nexus 2348UPQ ファブリック エクステンダ (FEX) の詳細については、次のリンク先にあるマニュアルを参照してください。

- [Cisco Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダ マニュアル](#)

ハードウェア メンテナンス

サーバおよび特定のアダプタカードを交換する場合は、サーバを停止してから再稼働する必要があります。詳細については、該当する『[Cisco UCS Manager Configuration Guide](#)』の「[decommissioning a Rack-Mount server](#)」および「[recommissioning a Rack-Mount Server](#)」の項を参照してください。

FEX の接続モードと検出

2通りの方法で FI に FEX を接続できます。Cisco UCS Manager FI が FEX/シャーシ ディスカバリ モードに基づいて FEX を検出します。FEX の接続モードは、次のとおりです。

- **Hard-Pinning mode** : FEX が検出されると、FEX のサーバ側ポートが接続されたアップリンク ポートにピンニングされます。Cisco UCS Manager は、確認済みのアップリンク ポートの数に基づいて、サーバー側ポートをアップリンク ポートにピンニングします。ピンニング後、新しいアップリンクを追加するか、または既存のアップリンクを削除する場合、変更を適用するために手動で FEX を確認する必要があります。
- **Port-Channel モード** : Port-Channel モードでは、ピンニングはありません。単一のポートチャンネルはすべてのサーバ側ポートへのアップリンクとして機能します。すべてのアップリンク ポートは、この単一のポートチャンネルのメンバです。アップリンク ポートの 1 つがダウンした場合、トラフィックは、使用可能な別のアップリンクポートに自動的に配信されます。

FEX と FI 間を port-channel モードでケーブル接続する場合、アップリンクが FI ポートに接続されている位置によって、使用可能な仮想インターフェイス (VIF) の名前空間が次のように異なります。

- FEX からのポートチャネルアップリンクが、単一チップで管理される 1 つのポートセット（8ポート構成）内でのみ接続されている場合、Cisco UCS Manager はサーバ上で展開されたサービスプロファイルで使用される VIF の数を最大化します。
- アップリンク接続が個別のチップで管理される複数のポートに分散している場合、VIF の数は少なくなります。たとえば、ポートチャネルの 7 つのメンバーをポート 1～7 に接続し、8 番目のメンバーをポート 9 に接続した場合、このポートチャネルはメンバーが 1 つであるかのように VIF をサポートします。



- (注)
- Cisco UCS Manager、リリース 4.2 以降、Cisco Nexus N9K-C93180YC-FX3 ファブリック エクステンダは、25G 接続で Cisco UCS VIC 15428、VIC 1455、1457 VIC1457 と VIC 1467 アダプタをサポートします。サポートされているアダプターは、混合構成で使用できます。
 - N9K-C93180YC-FX3 FEX からファブリック インターコネクタへのサポートされる接続の最大数は 16 です。

FEX ディスカバリ ポリシーとポートチャネルの割り当ての詳細については、適切な『[Cisco UCS Manager Configuration Guide](#)』を参照してください。

FEX アップリンクの数に基づき設定可能な vNIC/vHBA の最大数

次の表は、FEX アップリンクの数に基づいて、VIC アダプタに設定可能な vNIC/vHBA の最大数を示しています。

表 2: Cisco UCS 6454 ファブリック インターコネクタ および Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクタ

FEX と FI の間の確認済みリンク	VIC アダプタ 1225、1225T、1227、1227T、1385、1387、1455、1457、および 1467 に設定可能な vNIC/vHBA の最大数
1	116
2	116
4	116
8	116
16	116

表 3: Cisco UCS 6300 Fabric Interconnect

FEX と FI の間の確認済みリンク	VICアダプタ 1225、1225T、1227、1227T、1385、1387、1455、1457、1467、および 1477、1495、および 1497 に設定可能な vNIC/vHBA の最大数
1	116
2	116
4	116
8	116

表 4: Cisco UCS 6200 Fabric Interconnect

FEX と FI の間の確認済みリンク	VICアダプタ 1225、1225T、1227、1227T、1385、1387、1455、1457、1495、および 1497/1387 に設定可能な vNIC/vHBA の最大数
1	12
2	27
4	57
8	116

サポートされる C シリーズ サーバとアダプタ カード

アダプタ カード

次の表は、Cisco UCS Manager と統合された C シリーズラックマウントサーバに対して、このリリースでサポートされているアダプタ カードの一覧です。

表 5: ラックサーバの統合のためのアダプタ カード

アダプタ モデル	デュアルワイヤ接続	SingleWire 接続	直接接続
Cisco UCS VIC 1495 (UCSC-PCIE-C100-04)	いいえ	いいえ	はい
Cisco UCS VIC 1497 (UCSC-MLOM-C100-04)	いいえ	いいえ	はい
Cisco UCS VIC 1467 (UCSC-M-V25-04)	はい	はい	はい

アダプタ モデル	デュアルワイヤ接続	SingleWire 接続	直接接続
Cisco UCS VIC 1477 (UCSC-M-V100-04)	いいえ	いいえ	はい
Cisco UCS VIC 1455 (UCSC-PCIE-C25Q-04)	はい	はい	はい
Cisco UCS VIC 1457 (UCSC-MLOM-C25Q-04)	はい	はい	はい
Cisco UCS VIC 1387 (UCSC-MLOM-C40Q-03)	はい	はい	はい
Cisco UCS VIC 1385 (UCSC-PCIE-C40Q-03)	はい	はい	はい
Cisco UCS VIC 1227T (UCSC-MLOM-C10T-02)	はい	はい	いいえ
Cisco UCS VIC 1227 UCSC-MLOM-CSC-02	はい	はい	はい
Cisco UCS VIC 1225 (UCSC-PCIE-CSC-02)	はい	はい	はい
Cisco UCS VIC 1225T (UCSC-PCIE-C10T-02)	はい	はい	いいえ
QLogic QL45412H 40GbE ¹ (UCSC PCIE QD40GF)	はい	いいえ	いいえ

¹ FI 6332/6332-16UP を備えた Azure-stack ソリューションでのみサポートされ、Qlogic ポートは FI に直接接続する必要があり、さらに LOM ポートは管理のために FEX に接続する必要があります。



(注) デュアルワイヤ管理は、以下ではサポートされていません。

- FEX モードの Nexus 93180YC-FX3。
- Cisco UCS C125 M5 サーバー
- Cisco UCS C225 M6 サーバー
- Cisco UCS C245 M6 サーバー



- (注) 異なる世代の VIC アダプタは、1つのサーバでサポートされていません。たとえば、サーバに2つの VIC カードがある場合、これらの VIC アダプタは両方とも 1400 シリーズまたは 1300 シリーズまたは 1200 シリーズである必要があります。Cisco UCS 15000 シリーズ VIC アダプタは、M6 ラック サーバの 1400 シリーズ VIC アダプタと混在させることができます。たとえば、VIC 15428 MLOM は、M6 ラック サーバで 1455/1495 VIC アダプタとともに使用できません。



- (注) ラック サーバおよびアダプタの互換性については、それぞれのラック サーバの仕様シートを参照してください。接続オプションおよび詳細については、『[Configuration Guides](#)』を参照してください。

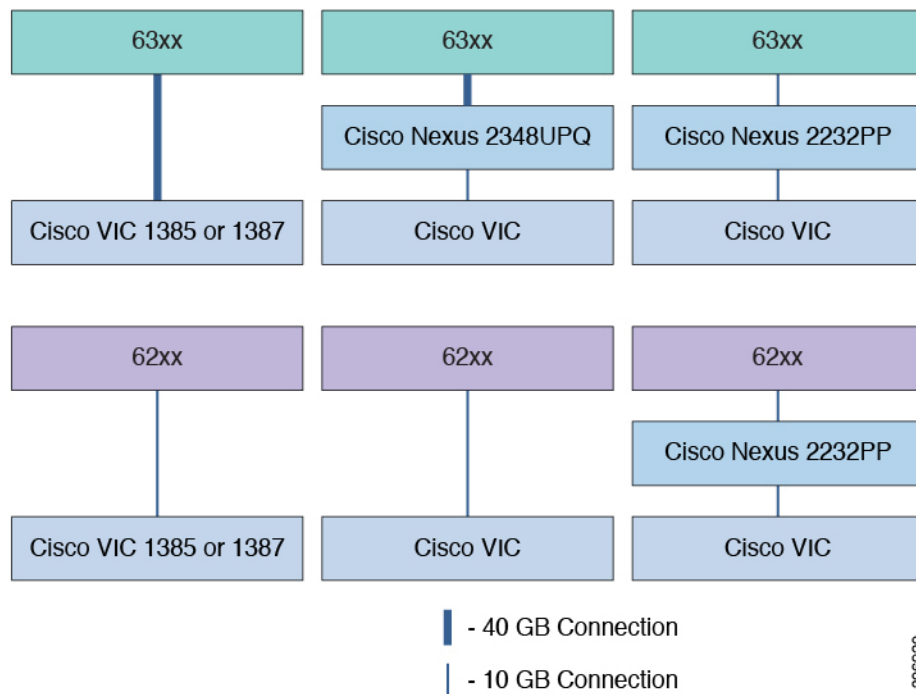
Cisco UCS Manager アップグレードの考慮事項

3.2 (2b) リリースを始め、Cisco UCS Manager UCS マネージャは [表 5: ラック サーバの統合のためのアダプタカード \(7 ページ\)](#) に記載されていないアダプタの Vnic または Vhba のプロビジョニングを許可していません。

ネットワーク トポロジとサポート対象ケーブル

次の図は、C シリーズサーバと Cisco UCS Manager との統合でサポートされる全ネットワーク トポロジを表しています。

図 1: 6200 および 6300 シリーズ ファブリック インターコネクットと、1300 シリーズ VIC カードを使用するネットワーク トポロジ



サーバ、Cisco VIC および FEX/IOM の互換性の詳細については、[Cisco UCS Manager リリース 4.2 のリリース ノート](#)の *Cisco UCS* ファブリック インターコネクットサーバの互換性マトリックス - リリース 4.2 (3) セクションを参照してください。



(注) Cisco UCS Manager では、Cisco UCS 6332 および 6332-16UP ファブリック インターコネクットがサポートされています。Cisco UCS 6324 ファブリック インターコネクットはサポートされていません。Cisco UCS 6200 ファブリック インターコネクットの場合、VIC 1455 または 1457 を使用していても、Cisco UCS C220 M6 および C240 M6サーバは Cisco UCS Manager でサポートされません。

太い青線は 40 ギガビット イーサネット接続、細い線は 10 ギガビット イーサネット接続を表しています。40 ギガビット イーサネット接続は Cisco VIC 1385、1387、1477、1495 と 1497 アダプタでサポートされています。10 ギガビット イーサネット接続は Cisco VIC 1225、1227、1385、1387、1455、1457、および 1467 アダプタでのみサポートされています。25 ギガビット イーサネット接続は Cisco VIC 1455、1457、および 1467 でのみサポートされています。

10 ギガビット イーサネットの場合、次のケーブルが使用されます。

- 4 X 10 ブレークアウト Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブル
- 4 X 10 アクティブ光ケーブル (OAC)
- Qualified Security Assessor (QSA) モジュールを使用する 10G Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブル

25 ギガビット イーサネットの場合、次のケーブルが使用されます。

- 25 G SFP 28



(注) 10G 接続で Cisco VIC 1385 および 1387 を使用している場合は、40G から 10G QSFP へのコンバータが必要になります。4 X 10 ブレークアウト Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブルおよび 4 X 10 アクティブ光ケーブル (OAC) を使用することはできません。FI または FEX に接続する場合、VIC からのブレークアウトはサポートされません。F I から VIC 1225/1227 および VIC 1455/1457 へのブレークアウトケーブルがサポートされています。

6400、6300 および 6200 シリーズの FI は、次の表に示されているように、Cisco VIC アダプタおよび FEX に接続できます。

Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクト	Cisco VIC 1385、1387、1455、1457 または、1467
Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクト と一緒 Cisco Nexus 2232PP FEX	Cisco VIC 1385、1387、1455、1457 または、1467 (10 G リンク)
Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクト と一緒 Cisco Nexus C93180YC-FX3 (4 x 25G ブレークアウト ケーブル)	Cisco VIC 1455、1457 または、1467 (Cisco UCS Manager リリース 4.2 のみから 25G リンク)
Cisco UCS 6300 シリーズ FI (63xx)	Cisco VIC 1385、1387、1455、1457、1467、1477、1495 または、1497
Cisco UCS 6300 シリーズ FI (63xx) と一緒 Cisco Nexus 2232PP (4 X 10 G ブレークアウト ケーブル) または 2348UQ (40 G リンク)	Cisco VIC 1385、1387、1455、1457 または、1467 (10 G リンク)
Cisco UCS 6200 シリーズ FI (62xx) と一緒 Cisco Nexus 2232PP	Cisco VIC 1385、1387、1455、または 1457
Cisco UCS 6200 シリーズ FI (62xx)	Cisco Nexus 2232PP Cisco VIC 1385、1387、1455、または 1457 (10 G リンク) (注) Cisco UCS VIC 1385 および 1387 アダプタに 10 G ケーブルを接続する場合は、40 G から 10 G へのコンバータを使用する必要があります。



(注) Cisco C シリーズ サーバーは、Cisco UCS 6324 ファブリック インターコネクと Cisco UCS VIC 1400 の組み合わせを使用して Cisco UCS マネージャと統合することはできません。

表 6: サポートされる 10 G アダプタと光ケーブル

FI/10 G ラック VIC/コネクタ	VIC 1225				VIC 1227			
	10 G	QSA	40 G	ブレイクアウトケーブル	10 G	QSA	40 G	ブレイクアウトケーブル
FI 62xx	はい	該当なし	該当なし	該当なし	はい	該当なし	該当なし	該当なし
FI 6324	はい	該当なし	該当なし	はい (4x10 ファブリックポートのみ)	はい	該当なし	該当なし	はい (4x10 ファブリックポートのみ)
FI 6332	該当なし	はい	該当なし	はい (4x10 ファブリックポートのみ)	該当なし	はい	該当なし	はい (4x10 ファブリックポートのみ)
FI 6332-16UP	はい	はい	該当なし	はい (4x10 ファブリックポートのみ)	はい	はい	該当なし	はい (4x10 ファブリックポートのみ)
Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネク	はい	該当なし	該当なし	該当なし	はい	該当なし	該当なし	該当なし

表 7: サポートされる 40 G アダプタと光ケーブル

FI/40 G ラック VIC/コネクタ	VIC 1385			VIC 1387		
	QSA	40 G	ブレイクアウトケーブル	QSA	40 G	ブレイクアウトケーブル

FI/40 G ラック VIC/コネクタ	VIC 1385			VIC 1387		
	FI 62xx	はい	該当なし	該当なし	はい	該当なし
FI 6324	はい	該当なし	該当なし	はい	該当なし	該当なし
FI 6332	はい	はい	該当なし	はい	はい	該当なし
FI 6332-16UP	はい	はい	該当なし	はい	はい	該当なし
Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクタ	はい	該当なし	該当なし	はい	該当なし	該当なし

表 8: サポートされる 10G/25G アダプタと光ケーブル

FI/10 G ラック VIC/コネクタ	VIC 1455、1457、および 1467			
	10 G	QSA	25 G	ブレイクアウトケーブル
FI 62xx	はい (1467 ではサポートされていません)	該当なし	該当なし	該当なし
FI 6324	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
FI 6332	該当なし	該当なし	該当なし	はい
FI 6332-16UP	はい	該当なし	該当なし	はい
Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクタ	はい	該当なし	はい	はい (Cisco UCS Manager、リリース 4.1(3) から)

表 9: サポートされる 40 G アダプタと光ケーブル

FI/40 G ラック VIC/コネクタ	VIC 1477、VIC 1495、および VIC 1497		
	QSA	40G	ブレイクアウトケーブル

FI/40 G ラック VIC/コネクタ	VIC 1477、VIC 1495、および VIC 1497		
FI 62xx	該当なし	該当なし	該当なし
FI 6324	該当なし	該当なし	該当なし
FI 6332	該当なし	はい	該当なし
FI 6332-16UP	該当なし	はい	該当なし
Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクタ	該当なし	該当なし	該当なし

サポートされる RAID/ストレージコントローラ コンフィギュレーション

エクспанダのないサーバのみ、Cisco UCS Manager 統合モードで複数の RAID コントローラを搭載できます。以下のサーバは、Cisco UCS Manager 統合モードで複数の RAID コントローラを搭載できます。

- Cisco UCS C220 M4 (UCSC-C220-M4)
- Cisco UCS C240 M4 (UCSC-C240-M4)
- Cisco UCS C460 M4 (UCSC-C460-M4)
- Cisco UCS C240 M5 (UCSC-C240-M5L)
- Cisco UCS C240 M5 (UCSC-C240-M5S)
- Cisco UCS C240 M5 (UCSC-C240-M5SX)
- Cisco UCS C240 M5 (UCSC-C240-M5SN)
- Cisco UCS C240 SD M5 (UCSC-C240-M5SD)
- Cisco UCS C220 M5 (UCSC-C220-M5L)
- Cisco UCS C220 M5 (UCSC-C220-M5SX)
- Cisco UCS C220 M5 (UCSC-C220-M5SN)
- Cisco UCS C480 M5 (UCSC-C480-M5)
- Cisco UCS C480 M5 ML サーバー (UCSC C480 M5ML)
- Cisco UCS C220 M6サーバ(UCSC-C220-M6S)
- Cisco UCS C220 M6サーバ(UCSC-C220-M6N)

- Cisco UCS C240 M6サーバ(USC-C240-M6S)
- Cisco UCS C240 M6サーバ(USC-C240-M6SX)
- Cisco UCS C240 M6サーバ(USC-C240-M6L)
- Cisco UCS C240 M6サーバ(USC-C240-M6N)
- Cisco UCS C240 M6サーバ(USC-C240-M6SN)
- Cisco UCS C225 M6サーバ(USC-C225-M6S)
- Cisco UCS C245 M6サーバ(USC-C245-M6SX)



- (注) Cisco UCS C125 M5 サーバ複数の PCIe RAID コントローラをサポートしていません。2つの PCIe スロットのみ存在します。1つは VIC カード用で、もう1つは RAID コントローラ用です。

このリストにないサーバに複数の RAID コントローラが搭載されている場合、検出が失敗します。

以下の RAID/ストレージコントローラが、Cisco UCS Manager と C シリーズ ラックマウントサーバの統合においてサポートされます。



- (注) すべて装着済みの LSI コントローラは、RAID 0、1、5、50、6、10、60をサポートします。LSI コントローラからメモリカードを取り外す場合、UCS Manager は RAID 6 と 10 を作成できません。

表 10: サポートされる RAID/ストレージコントローラ

サーバ	サポートされるストレージコントローラ
Cisco UCS C240 M4 (UCSC-C240-M4)	<ul style="list-style-type: none"> • 組み込み SATA のみのストレージコントローラ • Cisco 12G SAS モジュラ RAID コントローラ • Cisco 12G モジュラ SAS パススルー コントローラ • Cisco 9300-8E 12G SAS HBA コントローラ • Cisco UCSC-PSAS12GHBA ストレージコントローラ

サーバ	サポートされるストレージコントローラ
Cisco UCS C220 M4 (UCSC-C220-M4)	<ul style="list-style-type: none"> • 組み込み SATA のみのストレージコントローラ • Cisco 12G SAS モジュール RAID コントローラ • Cisco 12 G モジュール HBA パススルーコントローラ • Cisco 9300-8E 12G SAS HBA コントローラ • Cisco UCSC-PSAS12GHBA ストレージコントローラ
Cisco UCS C460 M4 (UCSC-C460-M4)	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco 12G SAS モジュール RAID コントローラ • Cisco 12G SAS C460M4 RAID コントローラ • Cisco 9300-8E 12G SAS HBA コントローラ • LSI MegaRAID SAS 9361-8i RAID コントローラ
Cisco UCS C220 M5 (UCSC-C220-M5SX)	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco 12G モジュール RAID コントローラ、2 GB キャッシュ搭載 (最大 16 ドライブ) (UCSC-RAID-M5) • Cisco 12G モジュール SAS HBA (最大 16 ドライブ) (UCSC-SAS-M5)
Cisco UCS C220 M5 (UCSC-C220-M5L)	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco UCS 12G SAS モジュール 8 ポート RAID コントローラ (UCSC-MRAID12G)

サーバ	サポートされるストレージコントローラ
Cisco UCS C220 M5 (UCSC-C220-M5SN)	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco UCS 12G SAS モジュール 8 ポート RAID コントローラ (UCSC MRAID12G) または Cisco 12G モジュール SAS HBA (最大 16 ドライブ) (UCSC SAS M5) • 最大 10 台の SFF NVMe PCIe SSD が搭載可能。 <p>(注) スロット 1 および 2 のドライブはライザー 2 から接続され、スロット 3～10 のドライブは内部の HBA スロットに装着された PCIe スイッチカードから接続。</p> <p>UCSC-C220-M5SN は内蔵 RAID をサポートしません。</p>
Cisco UCS C240 M5 (UCSC-C240-M5S)	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco 12G モジュール RAID コントローラ、2 GB キャッシュ搭載 (最大 16 ドライブ) (UCSC-RAID-M5) • Cisco 12G モジュール SAS HBA (最大 16 ドライブ) (UCSC-SAS-M5)
Cisco UCS C240 M5 (UCSC-C240-M5L)	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco 12G モジュール RAID コントローラ、2 GB キャッシュ搭載 (最大 16 ドライブ) (UCSC-RAID-M5) • Cisco 12G モジュール SAS HBA (最大 16 ドライブ) (UCSC-SAS-M5)
Cisco UCS C240 M5 (UCSC-C240-M5SX)	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco 12G モジュール RAID コントローラ、4 GB キャッシュ搭載 (最大 26 ドライブ) (UCSC-RAID-M5HD) • Cisco 12G モジュール SAS HBA (最大 26 ドライブ) (UCSC-SAS-M5HD)

サーバ	サポートされるストレージコントローラ
Cisco UCS C240 M5 (UCSC-C240-M5SN)	<ul style="list-style-type: none"> • 最大 8 台の前面 SFF NVMe PCIe SSD のみ装着できます (SAS/SATA ドライブを交換)。 (注) この NVMe ドライブは前面ドライブ ベイ 1～8 にのみ装着し、ライザ 2 のスロット 4 (PCIe スイッチ) から接続する必要があります。 • 16 台の SFF 前面 SAS/SATA ハードドライブ (HDD) または SAS/SATA ソリッドステートドライブ (SSD) が搭載可能。 (注) ドライブはスロット 9～24 に装着します。 • オプションで最大 2 台の SFF、背面 SFF NVMe PCIe SSD (NVMe 専用) を装着できます。背面 NVMe ドライブはライザ 2 から接続します。 <p>UCSC-C220-M5SN は内蔵 RAID をサポートしません。</p>
Cisco UCS C240 SD M5 (UCSC-C240-M5SD)	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco 12G モジュラ SAS HBA (最大 16 ドライブ) (UCSC-SAS-M5)
Cisco UCS C480 M5 (UCSC-C480-M5)	<ul style="list-style-type: none"> • 2GB キャッシュを持つ Cisco 12G 9460-8i RAID コントローラ (UCSC-SAS9460-8I) • UCSC-RAID-M5HD は、SuperCap キャッシュバックアップ (UCSC-SCAP-M5) による 4GB のキャッシュを備えた、内部に取り付けられる Cisco 12G モジュラ RAID コントローラです。 • Cisco 12 G 9460 8i RAID コントローラの Cisco UCS C480 M5 (UCSC C480 8AUX) 補助ドライブ モジュール

サーバ	サポートされるストレージコントローラ
Cisco UCS C125 M5 サーバ (UCSC C125)	<ul style="list-style-type: none"> • 2GB キャッシュを持つ Cisco 12G 9460-8i RAID コントローラ (UCSC-SAS9460-8I) • AHCI モードのオンボード SATA ストレージコントローラ (FCH) がサポートされています • SWRAID はサポートされていません
Cisco UCS C480 M5 ML サーバー (UCSC C480 M5ML)	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco 12G モジュラ RAID コントローラ (UCSC-RAID-M5HD) <p>4 GB キャッシュを搭載し、最大 26 台のドライブを制御します。</p>
Cisco UCS C220 M6サーバ (UCS-C220-M6S)	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco 12G モジュラ SAS HBA (最大 16 ドライブ) (UCSC-SAS-M6T) • Cisco 12G モジュラ RAID コントローラ、2GB キャッシュ搭載 (最大 16 ドライブ) (UCSC-RAID-M6T) • 12 台の SFF 前面 SAS/SATA ハードドライブ (HDD) または SAS/SATA ソリッドステートドライブ (SSD) が搭載可能。 <p>(注) ドライブはスロット 1 ~ 10 に装着します。</p>
Cisco UCS C220 M6サーバ (UCS-C220-M6N)	最大 10 台の SFF NVMe PCIe SSD が搭載可能。

サーバ	サポートされるストレージコントローラ
Cisco UCS C240 M6サーバ (UCS-C240-M6S)	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco 12G モジュラ SAS HBA (最大 16 ドライブ) (UCSC-SAS-M6T) • Cisco 12G モジュラ RAID コントローラ、2 GB キャッシュ搭載 (最大 16 ドライブ) (UCSC-RAID-M6T) • 12 台の SFF 前面 SAS/SATA ハードドライブ (HDD) または SAS/SATA ソリッドステートドライブ (SSD) が搭載可能。 <p>(注) ドライブはスロット 1 ~ 12 に装着します。</p>
Cisco UCS C240 M6サーバ(UCS-C240-M6L)	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco 12G モジュラ SAS HBA (最大 16 ドライブ) (UCSC-SAS-M6HD) • Cisco 12G モジュラ RAID コントローラ、2 GB キャッシュ搭載 (最大 16 ドライブ) (UCSC-RAID-M6HD)
Cisco UCS C240 M6サーバ(UCS-C240-M6SX)	<ul style="list-style-type: none"> • デュアル Cisco 12G モジュラ SAS HBA (最大 32 ドライブ) (UCSC-SAS-M6T) • Cisco 12G モジュラ RAID コントローラ、2 GB キャッシュ搭載 (最大 16 ドライブ) (UCSC-RAID-M6SD)
Cisco UCS C240 M6サーバ(UCS-C240-M6N)	最大 12 台の SFF NVMe PCIe SSD が搭載可能。
Cisco UCS C240 M6サーバ(UCS-C240-M6SN)	最大 24 台の SFF NVMe PCIe SSD が搭載可能。
Cisco UCS C225 M6サーバ(UCS-C225-M6S)	C225-SFF の 4GB FBWC (UCSC-RAID-M6T) または Cisco M6 12G SAS HBA コントローラ (UCSC-SAS-M6T) を備えた Cisco M6 12G SAS RAID コントローラ (前面 SAS/SATA ドライブ 10 台)
Cisco UCS C225 M6サーバ(UCS-C225-M6N)	直接接続された NVMe ドライブ (前面に 10 個の NVMe ドライブ)

サーバ	サポートされるストレージコントローラ
Cisco UCS C245 M6サーバ(USC-C245-M6SX)	<ul style="list-style-type: none"> デュアル Cisco M6 12G SAS HBA コントローラ (UCSC-RAID-M6T) (最大 16 台の SAS/SATA HDD) Cisco M6 12G SAS RAID コントローラと 4GB FBWC (28 ドライブ) (UCSC-RAID-M6SD) (最大 28 台の SAS/SATA HDD) M.2 ブート RAID コントローラ (UCS-M2-HWRAID)(ハードウェア RAID 0/1、最大 2 台の M.2 2280 ドライブ) リアライザーに直接接続された NVMe (最大 4 台の NVMe SSD)

サポートされる FlexFlash コンフィギュレーション

一部の Cisco UCS C シリーズ ラックマウント サーバは、サーバソフトウェア ツールおよびユーティリティのストレージとして、内部 Cisco FlexFlash Secure Digital (SD) メモリカードをサポートします。FlexFlash はデフォルトでディセーブルになっています。サービス プロファイルで使用されるローカル ディスク ポリシーで FlexFlash をイネーブルにできます。



(注) ユーティリティ モードで Cisco FlexFlash SD メモリ カードが設定されている Cisco UCS C シリーズ スタンドアロン サーバは、Cisco UCS Manager 統合モードではサポートされません。

CIMC のアップグレード後、Cisco FlexFlash をインストールできない場合は、FlexFlash SD カードを設定する前に、スクラブ ポリシーを適用します。

コントローラがサポートしている場合、フォーマット SD カードのオプションを使用することで、FlexFlash SD カードをスクラブすることができます。

Cisco Nexus スイッチの 93180YC-FX3 FEX への変換

このセクションでは、スイッチの使用法をスイッチ モードから FEX モードに変換する方法について説明します。

ステップ 1 次のコマンドを使用して、Cisco NX-OS モードから起動しないようにスイッチを設定します。

```
no boot nxos
```

ステップ 2 次のコマンドを実行して、FEX イメージを起動する前にスタートアップ コンフィギュレーションをコピーします。

```
copy running-config startup-config
```

ステップ 3 次のコマンドを実行して、FEX をブート変数として設定します。

```
boot fex
```

(注) `copy running-config startup-config` コマンドの実行後に、`boot fex` コマンドを実行しないでください。

ステップ 4 スイッチをリロードします。

FEX 変換コマンドへのサンプル スイッチを次に示します。

```
switch(config)# no boot nxos
switch(config)# copy running-config startup-config
switch(config)# boot fex
switch(config)# reload
```

Cisco UCS Manager での 93180YC-FX3 FEX の検出



(注) Cisco UCS Manager リリース 4.2 では、Cisco Nexus 93180YC-FX3 スイッチのみが FEX モードでサポートされ、FEX モードの Cisco Nexus 93180YC-FX3S スイッチはサポートされません。

ステップ 1 Cisco UCS Manager にログインします。

ステップ 2 93180YC-FX3 FEX のサーバー ポートを設定します。

1. [Navigation] ペインで **[Equipment]** をクリックします。
2. **[機器 (Equipment)]** > **[ファブリック インターコネクト (Fabric Interconnects)]** > **[ファブリック インターコネクト A/B (Fabric Interconnect A/B)]** > **[固定モジュール (Fixed Module)]** > **[イーサネット ポート (Ethernet Ports)]** の順に展開します。
3. [Ethernet Ports] ノードの下のポートをクリックします。
4. [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。
5. [Actions] 領域で、[Reconfigure] をクリックします。
6. ドロップダウン リストから [Configure as Server Port] を選択します。

ステップ 3 [アクション (Actions)] 領域で、[インターフェイスを表示 (Show Interface)] をクリックし、[CL74] を [FEC] フィールドで選択して、93180YC-FX3 FEX の検出を開始します。

(注) Cisco UCS ラック サーバを 93180YC-FX3 FEX に接続する場合、明示的な FEC 設定は必要ありません。

表 11: 93180YC-FX3 でサポートされるケーブルとトランシーバのマトリックス

タイプ	サポート対象のケーブル
25GbE	<ul style="list-style-type: none">• SFP-25G-SR-S• SFP-10/25G-LR-S• SFP-10/25G-CSR-S• SFP-H25G-SFP-H10GB-CU1M• SFP-H25G-CU2M• SFP-H25G-SFP-H10GB-CU3M• SFP-H25G-CU4M• SFP-H25G-CU5M• SFP-25G-AOC1M• SFP-25G-AOC2M• SFP-25G-AOC3M• SFP-25G-AOC4M• SFP-25G-AOC5M• SFP-25G-AOC7M• SFP-25G-AOC10M
100 GbE	<ul style="list-style-type: none">• QSFP-4SFP25G-CU1M• QSFP-4SFP25G-CU2M• QSFP-4SFP25G-CU3M• QSFP-4SFP25G-CU5M• QSFP-100G-SR4-S• QSFP-100G-PSM4-S



第 2 章

SingleConnect の設定

この章は、次の内容で構成されています。

- [SingleConnect \(26 ページ\)](#)
- [SingleConnect の重要なガイドライン \(26 ページ\)](#)
- [管理接続ポリシーと接続モード \(26 ページ\)](#)
- [接続モードの手動認識：GUI \(27 ページ\)](#)
- [接続モードの手動認識：CLI \(27 ページ\)](#)
- [SingleConnect を Cisco UCS Manager と統合するための要件 \(28 ページ\)](#)
- [混合 VIC セットアップ用 Cisco UCS Manager 管理 \(35 ページ\)](#)
- [混合 VIC セットアップ用 Cisco UCS Manager 管理 \(35 ページ\)](#)
- [Cisco UCS Manager Management for Mixed VIC Set-up in C240 M5 Server \(36 ページ\)](#)
- [C220 M6 サーバーでの混合 VIC セットアップのための Cisco UCS Manager 管理 \(38 ページ\)](#)
- [C240 M6 サーバの混合 VIC セットアップ用 Cisco UCS Manager 管理 \(40 ページ\)](#)
- [C225 M6 サーバーでの混合 VIC セットアップのための Cisco UCS Manager 管理 \(42 ページ\)](#)
- [C245 M6 サーバーでの混合 VIC セットアップのための Cisco UCS Manager 管理 \(44 ページ\)](#)
- [C シリーズ サーバと Cisco UCS ドメインとのクラスタ セットアップでの接続 \(46 ページ\)](#)
- [SingleConnect のクラスタ セットアップの物理的な接続の図 \(47 ページ\)](#)
- [C シリーズ サーバと UCS ドメインとの非クラスタ セットアップでの接続 \(49 ページ\)](#)
- [Physical Connectivity Illustrations for SingleConnect Non-Cluster Setup \(51 ページ\)](#)
- [統合後の Cisco UCS Manager でのラックマウント型サーバの管理 \(52 ページ\)](#)
- [サーバを Cisco UCS ドメイン モードからスタンドアロンモードへ戻す方法 \(53 ページ\)](#)
- [統合型サーバに関する特記事項 \(53 ページ\)](#)

SingleConnect

Cisco UCS Manager は、NC-SI を使用した C シリーズ ラックマウント サーバと Cisco UCS Manager を統合するオプションをサポートしています。このオプションを使用すれば、管理トラフィックとデータトラフィックの両方に単一のケーブルを使用して、Cisco UCS Manager で C シリーズ ラックマウントサーバを管理できます。SingleConnect モードを使用する場合、FEX 上の1つのホスト側ポートで1台のラックマウントサーバを十分に管理できますが、共有 LOM モードでは2つのポートが使用されます。このため、統合されたサーバ管理のために、より多くのラックマウントサーバを Cisco UCS Manager と接続することができます。Cisco UCS Manager と統合するための正しいサーバファームウェアを使用していることを確認してください。使用していない場合は、サーバファームウェアをアップグレードしてから、統合してください。「[C シリーズ サーバのファームウェアのアップグレード \(96 ページ\)](#)」を参照してください。

SingleConnect の重要なガイドライン

SingleConnect には、次の注意事項と制限事項があります。

- Cisco UCS Manager の統合のために SingleConnect を有効にするには、Cisco UCS VIC 1225、Cisco UCS VIC 1227、Cisco UCS VIC 1385、および Cisco UCS VIC 1455、Cisco UCS VIC 1457 または、Cisco UCS VIC 1467 を SingleConnect に割り当てられたラックサーバの特定のスロットに装着する必要があります。VIC が特定のスロットに装着されていない場合、SingleConnect は機能しません。



(注) Cisco VIC 1225T は、C220 M3、C240 M3、C240 M4、C220 C240 M4、および C460 M4 サーバーでのみサポートされます。Cisco UCS MLOM 1227T および Cisco UCS MLOM 1387 は、C240 M4 および C220 M4 サーバーでのみサポートされます。

管理接続ポリシーと接続モード

Cisco UCS ドメインの C シリーズ ラックマウントサーバに対する物理接続を確立する場合は、Cisco UCS Manager GUI または Cisco UCS Manager CLI で接続モードと管理ポリシーを指定する必要があります。管理ポリシーは、接続されているすべての C シリーズ ラックマウントサーバに対してグローバルです。接続モードにより、Cisco UCS Manager でのラックサーバの検出方法が決まります。

ラックサーバには、次のいずれかの接続ポリシーを指定できます。

- **自動確認**：これは C シリーズ ラックマウントサーバに推奨されるデフォルトの接続モードです。接続モードが自動確認の場合、Cisco UCS Manager は、物理接続が確立されると

すぐにラックサーバを検出し、指定された管理ポリシーに基づいてサーバの管理を開始します。

- **ユーザー確認** : 接続モードがユーザー確認の場合、物理接続を確立後、手動で接続を確認し、Cisco UCS Manager GUI または Cisco UCS Manager CLI で接続モードを指定して、検出を開始する必要があります。Cisco UCS Manager は、ユーザーが接続モードを指定するまで、C シリーズラックマウントサーバの検出を開始しません。詳細な手順については、[接続モードの手動認識 : GUI \(27 ページ\)](#) または [接続モードの手動認識 : CLI \(27 ページ\)](#) を参照してください。



- (注) Cisco UCS Manager によってラックサーバが検出され、管理されている場合、1 台の C シリーズラックマウントサーバの既存の接続モードを変更するには、そのサーバを停止してから再起動して、新しい接続モードを指定する必要があります。Cisco UCS Manager は、その時初めて、新しい接続モードでサーバを検出できるようになります。

接続モードの手動認識 : GUI

接続モードがユーザー確認の場合、物理接続を確立後、手動で接続を確認し、Cisco UCS Manager GUI で接続モードを指定して、検出を開始する必要があります。Cisco UCS Manager は、ユーザーが接続モードを指定するまで、C シリーズラックマウントサーバの検出を開始しません。

ステップ 1 [機器] > [ラックマウント] > [サーバ] を展開します。

- (注) Cisco UCS C125 M5 サーバでは、[機器 (Equipment)] > [ラックマウント (Rack Mounts)] > [エンクロージャ (Enclosures)] > [ラック エンクロージャ *rack_enclosure_number* (Rack Enclosure *rack_enclosure_number*)] > [サーバ (Servers)] の順に展開します。

ステップ 2 [インベントリ (Inventory)] > [CIMC] タブを選択します。

ステップ 3 [Configure Management Connection] をクリックし、[Enable] を選択します。

ステップ 4 [State] の [Enabled] チェックボックスを選択します。

ステップ 5 [OK] をクリックします。

接続モードの手動認識 : CLI

接続モードがユーザー確認の場合、物理接続を確立後、手動で接続を確認し、Cisco UCS Manager CLI で接続モードを指定して、検出を開始する必要があります。Cisco UCS Manager は、ユーザーが接続モードを指定するまで、C シリーズラックマウントサーバの検出を開始しません。

手順の概要

1. UCS-A # **scope server_ID**
2. 5 UCS-A/server # **scope cimc**
3. UCS-A/server/cimc # **scope mgmt-conn sideband**
4. 9 UCS-A/server/cimc/mgmt-conn #**set mgmt-conn-state enabled**
5. UCS-A/server/cimc/mgmt-conn* # **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A # scope server_ID	指定したサーバを開始します。
ステップ 2	5 UCS-A/server # scope cimc	CIMC モードを開始します。
ステップ 3	UCS-A/server/cimc # scope mgmt-conn sideband	管理接続モードを開始します。
ステップ 4	9 UCS-A/server/cimc/mgmt-conn # set mgmt-conn-state enabled	接続モードを確認します。
ステップ 5	UCS-A/server/cimc/mgmt-conn* # commit-buffer	システムで変更を保存します。

例

```
UCS-A# scope server 1
UCS-A /server # scope cimc
UCS-A /server/cimc # scope mgm
UCS-A /server/cimc # scope mgmt-conn
UCS-A /server/cimc # scope mgmt-conn sideband
UCS-A /server/cimc/mgmt-conn # set mgmt-conn-state enabled
UCS-A /server/cimc/mgmt-conn* # commit-buffer
UCS-A /server/cimc/mgmt-conn
```

SingleConnect を Cisco UCS Manager と統合するための要件

クラスタ セットアップの要件

クラスタ セットアップで、C シリーズ ラックマウント サーバ と Cisco UCS Manager のシングルワイヤの統合を作成するには、次の製品が必要です。

- Cisco UCS Manager を実行する Cisco UCS システム。
- 次の表に記載されている任意の C シリーズ ラックマウント サーバ と対応する CIMC と UCS Manager のリリース バージョン。

表 12: SingleConnect の統合に最低限必要な Cisco IMC、BIOS、Cisco UCS Manager のバージョン

サーバ	Cisco IMC	BIOS	UCS Manager	UCS Manager (CIMC)	UCS Manager (BIOS)
Cisco UCS C220 M4 サーバ (2.2.3 以降が必要)	2.0(3d)	2.0.3	2.2(3a)	2.0(3d)	2.0.3
Cisco UCS C240 M4 サーバ (2.2.3 以降が必要)	2.0(3d)	2.0.3	2.2(3a)	2.0(3d)	2.0.3
Cisco UCS C460 M4 サーバ	1.5(7a)	1.5.7	2.2(2a)	1.5(7a)	1.5.7
Cisco UCS C220 M5 サーバ	3.1.1d	3.1.1i.0	3.2(1d)	3.1.1d	3.1.1i.0
Cisco UCS C240 M5 サーバ	3.1.1d	3.1.1h.0	3.2(1d)	3.1.1d	3.1.1h.0
Cisco UCS C480 M5 サーバ	3.1(2b)	3.1.2a.0	3.2(2b)	3.1(2b)	3.1.2a.0
Cisco UCS C480 M5 サーバ	3.1(2b)	3.1.2a.0	3.2(2b)	3.1(2b)	3.1.2a.0
Cisco UCS C125 M5 サーバ	4.0(1a)	4.0(1a)	4.0(1a)	4.0(1a)	4.0(1a)
Cisco UCS C480 M5 ML サーバ	4.0(2a)	4.0(2a)	4.0(2a)	4.0(2a)	4.0(2a)
Cisco UCS C240 SD M5 サーバ	4.1(2)	4.1(2)	4.1(2)	4.1(2)	4.1(2)

サーバ	Cisco IMC	BIOS	UCS Manager	UCS Manager (CIMC)	UCS Manager (BIOS)
Cisco UCS C220 M6 サーバ	4.2(1)	4.2(1)	4.2(1)	4.2(1)	4.2(1)
Cisco UCS C240 M6 サーバ	4.2(1)	4.2(1)	4.2(1)	4.2(1)	4.2(1)
Cisco UCS C225 M6 サーバ	4.2(1)	4.2(1)	4.2(1)	4.2(1)	4.2(1)
Cisco UCS C245 M6 サーバ	4.2(1)	4.2(1)	4.2(1)	4.2(1)	4.2(1)



(注) Cisco UCS C220 M4、C240 M4、C220 M5、ならびにC240 M5 サーバの場合は、MLOM または VIC を使用して、SingleConnect または直接接続モードで Cisco UCS Manager と統合できます。

Cisco UCS C125 M5 サーバMLOM をサポートしていません。Cisco UCS C125 M5 サーバはスロット 2 のみで、VIC カードを配置する必要があります。

接続アダプタは、次のように選択されます。

- **MLOM のみ** : サーバに MLOM のみ搭載されている場合、接続アダプタはデフォルトで MLOM です。
- **MLOM および VIC アダプタ** : MLOM がデフォルトの接続アダプタです。
- **MLOM なし** :
 - Cisco UCS C220 M4/C220 M5 に VIC が含まれている場合は、SingleConnect または直接接続の統合では Riser1 (スロット 1) に VIC を装着する必要があります。
 - Cisco UCS C240 M4/C240 M5 に VIC が含まれている場合は、SingleConnect または直接接続の統合ではスロット 1、2、4、または 5 のいずれかに VIC を装着できます。
- **MLOM および VIC なし** : 単一接続または直接接続はサポートされません。



重要 サーバーには、Cisco UCS VIC 1225、Cisco VIC 1227、Cisco VIC 1385、Cisco VIC 1387 MLOM、Cisco VIC 1455 または、Cisco VIC 1457 MLOM あるいは、Cisco VIC 15428 MLOM を装着する必要があります。

Cisco UCS VIC 1225 または Cisco VIC 1227 のファームウェアおよびブートローダのバージョンは次の通りです。

Cisco UCS 1225 および 1227 カードの場合：

- 推奨：2.1(0.457a)
- 最小限の要件：2.1(0.367e)

Cisco UCS VIC 1385 および 1387 MLOM の場合：

- 推奨：4.1.1a
- 最小限：4.1.1a

Cisco UCS VIC 1455 および 1457 MLOM：

- 推奨 5.0(1a) 以降

Cisco UCS VIC 1467 および 1477 MLOM の場合：

- 5.0(1a) 以降を推奨

Cisco UCS VIC 15428 MLOM の場合：

- 5.2 (2b) 以降を推奨

Cisco UCS 1225、Cisco UCS 1227、Cisco UCS 1385、Cisco UCS 1387、Cisco UCS 1455、Cisco UCS 1457 と Cisco UCS 1467 VIC は単一接続をサポートします。

SingleConnect に Cisco UCS VIC を使用している場合、カードが次の表で説明されているいずれかのスロットに挿入されていることを確認してください。



(注) Cisco UCS Manager リリース 4.2 以降、M3 サーバーはサポートされていません。

表 13: SingleConnect の統合のための Cisco UCS VIC スロット

サーバ	PCIe スロット
Cisco UCS C220 M4 サーバ	MLOM、1

サーバ	PCIe スロット
Cisco UCS C240 M4 サーバ	MLOM、1、2、4、5 (注) スロット2および5にGPUが装着されている場合、スロット1および4にVICを配置します。
Cisco UCS C460 M4 サーバ	4、9、5、10
Cisco UCS C220 M5 サーバ	MLOM、1
Cisco UCS C240 M5 サーバ	MLOM、1、2、4、5 (注) スロット2および5にGPUが装着されている場合、スロット1および4にVICを配置します。 スロットの組み合わせについては、 混合VIC セットアップ用 Cisco UCS Manager 管理 (35 ページ) を参照してください。
Cisco UCS C240 SD M5 サーバ	MLOM、1、2
Cisco UCS C480 M5 サーバ	1、2
Cisco UCS C125 M5 サーバ	2
Cisco UCS C480 M5 サーバ	1、2
Cisco UCS C480 M5 ML サーバ	11、12
Cisco UCS C220 M6サーバ	MLOM、1、3
Cisco UCS C240 M6サーバ	MLOM、1、2、4、および5 (注) スロット2および5にGPUが装着されている場合、スロット1および4にVICを配置します。
Cisco UCS C225 M6サーバ	MLOM、1、3

サーバ	PCIe スロット
Cisco UCS C245 M6サーバ	MLOM、1、2、4、および5 (注) スロット2および5にGPUが装着されている場合、スロット1および4にVICを配置します。



(注) Cisco UCS 1225、1225T、1385、1455 と 1495 は PCIe ベースのアダプタであり、Cisco VIC 1227、Cisco VIC 1227T、Cisco VIC 1387、Cisco VIC 1457、Cisco VIC 1467、Cisco VIC 1477、Cisco VIC 15428 MLOM と Cisco VIC 1497 は、MLOM ベースです。

- Cisco UCS 6200 Series、Cisco UCS 6300 Series または、Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクトあるいは、Cisco UCS 6536 ファブリック インターコネクト. ファブリック エクステンダ (FEX) を接続するスイッチ ポートは、サーバ ポートとしてマークする必要があります。
- 次の FEX タイプを使用できます：
 - Cisco Nexus 2232PP
 - Cisco Nexus 2232TM-E
 - Cisco Nexus 2348UPQ
 - FEX モードの Cisco Nexus 93180YC-FX3 (Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクトを使用)



- (注)
- Cisco Nexus 2232PP または Cisco Nexus 2232TM-E FEX は 6200 シリーズ FI に、Cisco Nexus 2232PP、Cisco Nexus 2232 TM-E、または Cisco Nexus 2348UPQ EFX は 6300 シリーズ FI に接続できます。
 - FEX の 2 つの電源装置それぞれに電源コードを接続する必要があります。電源が接続されていて、ハードウェアに問題がある場合は、電源投入時自己診断テスト (POST) の途中で「重大な」障害が報告されることがあります。たとえば、次のエラーが表示されることがあります。「Power supply 1 in fex 6 power: error」。このエラーは、不足している電源コードを FEX 電源装置に接続するとクリアできます。

- 10 Gb Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブル X 4。



- (注)
- 各 FEX と対応する FI の接続用ケーブル X 1 (最小限)。
 - サーバと FEX の間のデータ トラフィック パスのリンク用ケーブル X 1 (最小限)。
 - FEX から FI へのアップリンク用ケーブル X 4 (最小限)。10 Gb ツインアキシャル ケーブルか、次の SFP タイプのケーブルのいずれかを使用できます。
 - SFP - 10GE-SR
 - FET - 10GE



重要 アップリンクで SFP タイプを混在使用しないでください。アップリンクで SFP のタイプを混在させると、「Discovery Failed」のエラーが表示されます。

非クラスタ セットアップの要件

Cisco UCS Manager および C シリーズ ラック マウント サーバとともに、非クラスタ セットアップでサーバを統合する場合は、次のコンポーネントが必要です。

- 一つの Cisco UCS 6200 Series、Cisco UCS 6300 Series または、Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクトあるいは、Cisco UCS 6536 ファブリック インターコネクト、ファブリック エクステンダ (FEX) を接続するスイッチ ポートは、サーバポートとしてマークする必要があります。
- 次のいずれかの FEX タイプを使用できます。
 - Cisco Nexus 2232PP
 - Cisco Nexus 2232TM-E
 - Cisco Nexus 2348UPQ
- 10 Gb SFP ケーブル X 3。



- (注)
- 6200 シリーズ FI を使用している場合、SFP ケーブルの最小要件は 2 です。
 - サーバと FEX の間のデータ トラフィック パスを接続するために 1 本以上のケーブル。
 - FEX から FI へのアップリンク用ケーブル X 2 (最小限)。
FEX から FI へのアップリンクに使用する 2 本のケーブルごとに、10 Gb ツインアキシャル ケーブルか、次の Small Form-Factor Pluggable (SFP) タイプのケーブルのいずれかを使用できます。
 - SFP - 10GE-SR
 - FET - 10GE

- 接続されている Cisco Nexus 2348UPQ の 40G SFP ケーブル

混合 VIC セットアップ用 Cisco UCS Manager 管理

Cisco UCS Manager は、Cisco UCS M6 サーバおよび 混合 VIC カードによるセットアップを完全にはサポートしていません。

表 14: Cisco UCS Manager 管理

スロット	Cisco UCS Manager 管理
MLOMのみ。	MLOM がデフォルトの接続アダプタです。
MLOM アダプタと VIC アダプタの両方。	MLOM がデフォルトの接続アダプタです。
VIC アダプタのみ。MLOM はなし。	VIC アダプタは、単一接続または直接接続統合用にスロット 1 に取り付けることができます。

混合 VIC セットアップ用 Cisco UCS Manager 管理

Cisco UCS Manager は、Cisco UCS M5 サーバおよび 混合 VIC カードによるセットアップを完全にはサポートしていません。

表 15: Cisco UCS Manager 管理

スロット	Cisco UCS Manager 管理
MLOMのみ。	MLOM がデフォルトの接続アダプタです。
MLOM アダプタと VIC アダプタの両方。	MLOM がデフォルトの接続アダプタです。
VIC アダプタのみ。MLOM はなし。	VIC アダプタは、単一接続または直接接続統合用にスロット 1 に取り付けることができます。

Cisco UCS Manager Management for Mixed VIC Set-up in C240 M5 Server

Cisco UCS Manager は、Cisco UCS C240 M5 サーバおよび混合 VIC カードのによるセットアップを完全にはサポートしていません。

表 16: Cisco UCS Manager 管理

スロット	Cisco UCS Manager 管理
スロット 1 およびスロット 2 の両方が使用されています。 スロット 1 : Cisco VIC 1455 スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ	Cisco UCS Manager はスロット 2 のみを検出します。
スロット 1 およびスロット 2 の両方が使用されています。 スロット 1 : Cisco VIC カードまたは Cisco VIC 1455 以外のサードパーティ製のアダプタ スロット 2 : Cisco VIC 1455	Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。
スロット 1 およびスロット 2 の両方が使用されています。 スロット 1 : Cisco VIC カードまたは Cisco VIC 1455 以外のサードパーティ製のアダプタ スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ	Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。

スロット	Cisco UCS Manager 管理
<p>1つのスロットのみ使用されています。</p> <p>スロット1: Cisco VICカードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>または</p> <p>スロット2: Cisco VICカードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Managerはどちらのスロットが使用されているか検出します。</p>
<p>スロット4およびスロット5の両方が使用されています。</p> <p>スロット4: Cisco VIC 1455</p> <p>スロット5: Cisco VICカードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Managerはスロット5のみを検出します。</p>
<p>スロット4およびスロット5の両方が使用されています。</p> <p>スロット4: Cisco VICカードまたはCisco VIC 1455以外のサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット5: Cisco VIC 1455</p>	<p>Cisco UCS Managerは両方のスロットを検出します。</p>
<p>スロット4およびスロット5の両方が使用されています。</p> <p>スロット4: Cisco VICカードまたはCisco VIC 1455以外のサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット5: Cisco VICカードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Managerは両方のスロットを検出します。</p>
<p>1つのスロットのみ使用されています。</p> <p>スロット4: Cisco VICカードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>または</p> <p>スロット5: Cisco VICカードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Managerはどちらのスロットが使用されているか検出します。</p>

C220 M6 サーバーでの混合 VIC セットアップのための Cisco UCS Manager 管理

Cisco UCS Manager は、Cisco UCS C220 M6サーバ および 混合 VIC カードのによるセットアップを完全にはサポートしていません。

表 17: Cisco UCS Manager 管理

スロット	Cisco UCS Manager 管理
<p>スロット 1、スロット 2、およびスロット 3 が使用されています。</p> <p>スロット 1 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p> <p>スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 3 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager はスロット 2 のみを検出します。</p>
<p>スロット 1、スロット 2、およびスロット 3 が使用されています。</p> <p>スロット 1 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 2 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p> <p>スロット 3 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager は全てのスロットを検出します。</p>
<p>スロット 1、スロット 2、およびスロット 3 が使用されています。</p> <p>スロット 1 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 3 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager は全てのスロットを検出します。</p>

スロット	Cisco UCS Manager 管理
<p>1つのスロットのみ使用されています。</p> <p>スロット1: Cisco VICカードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>または</p> <p>スロット2: Cisco VICカードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>または</p> <p>スロット3: Cisco VICカードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager はどちらのスロットが使用されているか検出します。</p>
<p>スロット4およびスロット5の両方が使用されています。</p> <p>スロット4: Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p> <p>スロット5: Cisco VICカードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager はスロット5のみを検出します。</p>
<p>スロット4およびスロット5の両方が使用されています。</p> <p>スロット4: Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VICカードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット5: Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p>	<p>Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。</p>
<p>スロット4およびスロット5の両方が使用されています。</p> <p>スロット4: Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VICカードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット5: Cisco VICカードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。</p>

スロット	Cisco UCS Manager 管理
<p>1つのスロットのみ使用されています。</p> <p>スロット4：Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>または</p> <p>スロット5：Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	Cisco UCS Manager はどちらのスロットが使用されているか検出します。



(注) Cisco VIC 1495 は Cisco UCS 6300 シリーズ ファブリック インターコネクタでのみサポートされています。

C240 M6 サーバの混合 VIC セットアップ用 Cisco UCS Manager 管理

Cisco UCS Manager は、Cisco UCS C240 M6サーバ および 混合 VIC カードのによるセットアップを完全にはサポートしていません。

表 18: Cisco UCS Manager 管理

スロット	Cisco UCS Manager 管理
<p>スロット1 およびスロット2 の両方が使用されています。</p> <p>スロット1：Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p> <p>スロット2：Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	Cisco UCS Manager はスロット2のみを検出します。
<p>スロット1 およびスロット2 の両方が使用されています。</p> <p>スロット1：Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット2：Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p>	Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。

スロット	Cisco UCS Manager 管理
<p>スロット 1 およびスロット 2 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 1 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。</p>
<p>1 つのスロットのみ使用されています。</p> <p>スロット 1 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>または</p> <p>スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager はどちらのスロットが使用されているか検出します。</p>
<p>スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 4 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p> <p>スロット 5 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager はスロット 5 のみを検出します。</p>
<p>スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 4 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 5 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p>	<p>Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。</p>
<p>スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 4 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 5 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。</p>

スロット	Cisco UCS Manager 管理
<p>1つのスロットのみ使用されています。</p> <p>スロット4：Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>または</p> <p>スロット5：Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager はどちらのスロットが使用されているか検出します。</p>



(注) Cisco VIC 1495 は Cisco UCS 6300 シリーズ ファブリック インターコネクトでのみサポートされています。

C225 M6 サーバーでの混合 VIC セットアップのための Cisco UCS Manager 管理

Cisco UCS Manager は、Cisco UCS C225 M6サーバ および 混合 VIC カードのによるセットアップを完全にはサポートしていません。

表 19: Cisco UCS Manager 管理

スロット	Cisco UCS Manager 管理
<p>スロット1、スロット2、およびスロット3が使用されています。</p> <p>スロット1：Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p> <p>スロット2：Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット3：Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager はスロット2のみを検出します。</p>

スロット	Cisco UCS Manager 管理
<p>スロット 1、スロット 2、およびスロット 3 が使用されています。</p> <p>スロット 1 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 2 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p> <p>スロット 3 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager は全てのスロットを検出します。</p>
<p>スロット 1、スロット 2、およびスロット 3 が使用されています。</p> <p>スロット 1 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 3 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager は全てのスロットを検出します。</p>
<p>1 つのスロットのみ使用されています。</p> <p>スロット 1 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>または</p> <p>スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>または</p> <p>スロット 3 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager はどちらのスロットが使用されているか検出します。</p>
<p>スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 4 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p> <p>スロット 5 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager はスロット 5 のみを検出します。</p>

スロット	Cisco UCS Manager 管理
<p>スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 4 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 5 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p>	Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。
<p>スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 4 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 5 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。
<p>1 つのスロットのみ使用されています。</p> <p>スロット 4 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>または</p> <p>スロット 5 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	Cisco UCS Manager はどちらのスロットが使用されているか検出します。

C245 M6 サーバーでの混合 VIC セットアップのための Cisco UCS Manager 管理

Cisco UCS Manager は、Cisco UCS C245 M6サーバ および 混合 VIC カードのによるセットアップを完全にはサポートしていません。

表 20: Cisco UCS Manager 管理

スロット	Cisco UCS Manager 管理
<p>スロット 1 およびスロット 2 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 1 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p> <p>スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	Cisco UCS Manager はスロット 2 のみを検出します。
<p>スロット 1 およびスロット 2 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 1 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 2 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p>	Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。
<p>スロット 1 およびスロット 2 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 1 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。
<p>1 つのスロットのみ使用されています。</p> <p>スロット 1 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>または</p> <p>スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	Cisco UCS Manager はどちらのスロットが使用されているか検出します。
<p>スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 4 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p> <p>スロット 5 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	Cisco UCS Manager はスロット 5 のみを検出します。

スロット	Cisco UCS Manager 管理
スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。 スロット 4 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ スロット 5 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495	Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。
スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。 スロット 4 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ スロット 5 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ	Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。
1 つのスロットのみ使用されています。 スロット 4 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ または スロット 5 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ	Cisco UCS Manager はどちらのスロットが使用されているか検出します。



(注) Cisco VIC 1495 は Cisco UCS 6300 シリーズ ファブリック インターコネクトでのみサポートされています。

C シリーズサーバと Cisco UCS ドメインとのクラスタ セットアップでの接続

始める前に



重要 Cisco UCS Manager と統合するには、サーバの CIMC が工場出荷時の設定に設定されていることを確認してください。

サーバに接続する前に、Cisco UCS VIC 1225、Cisco VIC 1227、Cisco VIC 1385、Cisco VIC 1387 MLOM、Cisco VIC 1455、Cisco VIC 1457 MLOM、Cisco VIC 1467、または Cisco VIC 1477 が、Cisco UCS Manager との統合のための正しいスロットに装着されていることを確認します。カードが正しいスロットに装着されていない場合、サーバのシングルワイヤ管理を有効にできません。

- ステップ 1** ラックにサーバを設置します。使用しているサーバの『*Install and Upgrade Guide*』を参照してください。インストールガイドは、次の URL から入手できます。 [Install and Upgrade Guides](#)
- ステップ 2** データ トラフィックと管理トラフィックの両方が伝送されるパスを FEX に接続します。
- サーバのアダプタ カードとファブリック A に接続している FEX のポートの間をサポートされているケーブルで接続します。FEX の任意のポートを使用できます。
 - サーバのアダプタ カードとファブリック B に接続している FEX のポートの間をサポートされている SFP ケーブルで接続します。FEX の任意のポートを使用できます。
- ステップ 3** FEX から FI へのパスを接続します。
- FEX A と FI A の 2 つのポートの間をサポートされている 2 本以上の SFP ケーブルで接続します。FI A の任意のポートを使用できますが、ポートはサーバポートとして設定される必要があります。
 - FEX B と FI B の 2 つのポートの間をサポートされている 2 本以上の SFP ケーブルで接続します。FI B の任意のポートを使用できますが、ポートはサーバポートとして設定される必要があります。
 - C シリーズの統合のネットワーク トポロジとケーブル接続の詳細については、「[ネットワーク トポロジとサポート対象ケーブル \(9 ページ\)](#)」の項を参照してください。
 - FEX では、アップリンクに 8 ポートの右側のブロックだけを使用できます。アップリンクの最大数は 8 です。
 - アップリンクで SFP タイプを混在使用しないでください。混在させると、検出が失敗することがあります。
- ステップ 4** 電源コードをサーバの各電源装置に接続し、次に接地された AC 電源コンセントにコードを接続します。
- ステップ 5** サーバをリブートします。

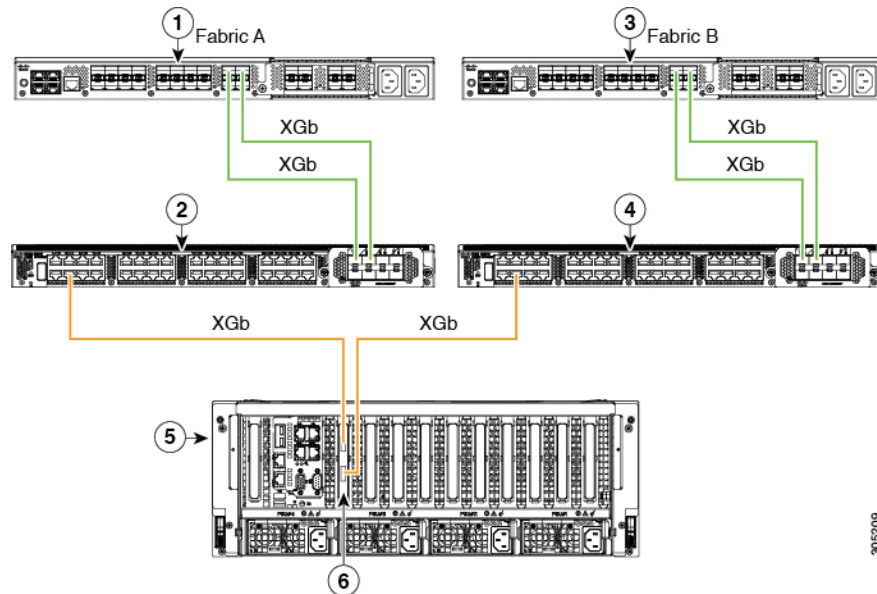
SingleConnect のクラスタ セットアップの物理的な接続の



次の図は、C シリーズラックマウントサーバと Cisco UCS ドメイン、Cisco UCS Manager との SingleConnect 物理接続の例を示しています。次の図は、C シリーズラックマウントサーバと Cisco UCS Manager を統合する場合の配線構成を示しています。ゴールドで示されたパスでは、管理トラフィックとデータ トラフィックの両方が伝送されます。

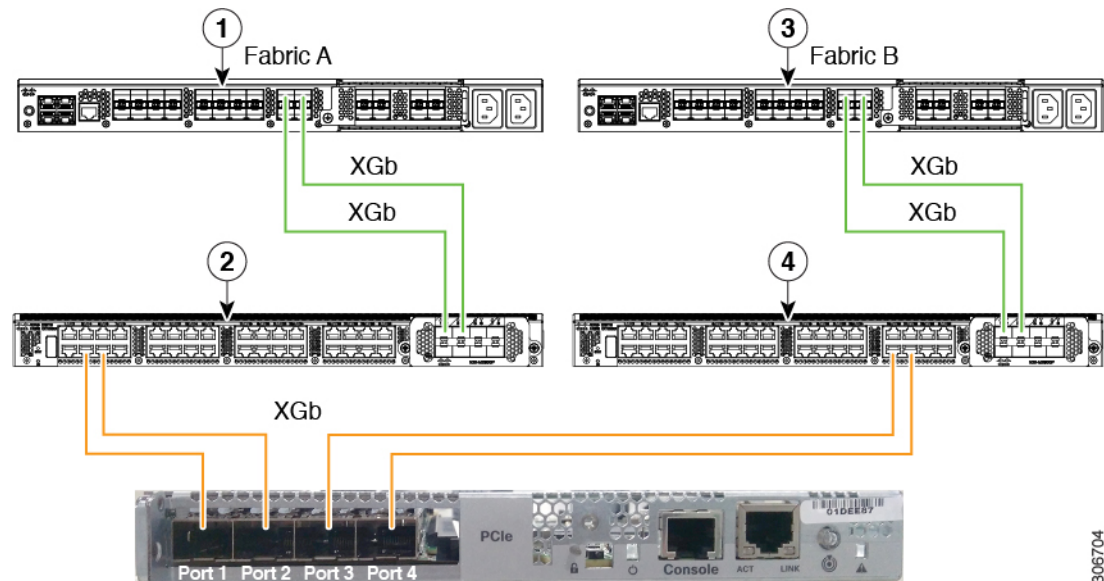
示されている図は、例としてのみ示しています。機器設定は、サーバー、FI と FEX によって変わります。

図 2: SingleConnect の配線構成



306209

図 3: Cisco VIC 1455/VIC 1457/VIC 1467/VIC との SingleConnect の配線構成



306704



(注) XGb は 40 GB 接続または 10 GB 接続または 25 GB 接続を表します。10 ギガビットイーサネットの場合、次のケーブルが使用されます。

- 4 X 10 ブレークアウト Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブル
- 4 X 10 アクティブ光ケーブル (OAC)
- Qualified Security Assessor (QSA) モジュールを使用する 10G Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブル

25 ギガビットイーサネットの場合、次のケーブルが使用されます。

- 25 G SFP 28

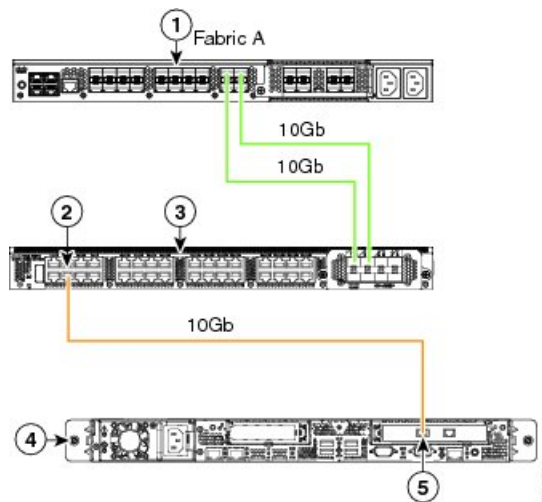
1	Cisco UCS 6200 シリーズ、Cisco UCS 6200 シリーズ、または Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクタまたは、Cisco UCS 6536 ファブリック インターコネクタ (ファブリック A)	4	Cisco Nexus 2232PP、Cisco Nexus 2232TM-E (Cisco UCS VIC 1467 には適用不可)、Cisco Nexus 2348UPQ FEX (ファブリック B)、または FEX モードの Cisco Nexus N9K-C93180YC-FX3 (Cisco UCS 6400 ファブリック インターコネクタを使用) あるいは、Cisco VIC 15428
2	Cisco Nexus 2232PP または Cisco Nexus 2232TM-E (Cisco UCS VIC 1467 には適用不可)、または Cisco Nexus 2348UPQ FEX (ファブリック A) あるいは、Cisco VIC 15428	5	C シリーズ ラックマウント サーバ
3	Cisco UCS 6300、Cisco UCS 6200 シリーズ、または Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクタまたは、Cisco UCS 6536 ファブリック インターコネクタ (ファブリック B)	6	サポート対象 PCIe または MLOM スロット内の Cisco UCS VIC。

C シリーズサーバと UCS ドメインとの非クラスタ セットアップでの接続

C シリーズサーバと UCS ドメインを接続する場合は、[C シリーズサーバと Cisco UCS ドメインとのクラスタ セットアップでの接続 \(46 ページ\)](#) で説明されているのと同じ手順を実行します。ただし、2つの FI と 2つの FEX を接続する代わりに、1つの FI と 1つの FEX のみ接続する必要があります。

図 4: シングルワイヤの非クラスタ セットアップの例

次の図は、シングルワイヤ管理の非クラスタ セットアップの例です。



(注) XGb は 40 GB イーサネット接続または 10 GB イーサネット接続または 25 GB イーサ接続を表します。10 ギガビット イーサネットの場合、次のケーブルが使用されます。

- 4 X 10 ブレークアウト Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブル
- 4 X 10 アクティブ光ケーブル (OAC)
- Qualified Security Assessor (QSA) モジュールを使用する 10G Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブル

25 ギガビット イーサネットの場合、次のケーブルが使用されます。

- 25 G SFP 28

1	Cisco UCS 6200 シリーズ、Cisco UCS 6300 シリーズ、Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクト (ファブリック A)	4	C シリーズ ラックマウント サーバ
2	SingleConnect 接続	5	サポート対象 PCIe スロット内の Cisco UCS VIC アダプタ
3	Cisco Nexus 2232PP、Cisco Nexus 2232TM-E、または Cisco Nexus 2348UPQ FEX (ファブリック A)		

Physical Connectivity Illustrations for SingleConnect Non-Cluster Setup

次の図は、C シリーズ ラックマウント サーバと Cisco UCS ドメイン、Cisco UCS Manager との SingleConnect 物理接続の例を示しています。次の図は、C シリーズ ラックマウント サーバと Cisco UCS Manager を統合する場合の配線構成を示しています。ゴールドで示されたパスでは、管理トラフィックとデータ トラフィックの両方が伝送されます。

示されている図は、例としてのみ示しています。機器設定は、サーバー、FI と FEX によって変わります。

図 5: Cisco VIC 1455/VIC 1457/VIC 1467/VIC との SingleConnect の配線構成 - 単一ケーブル

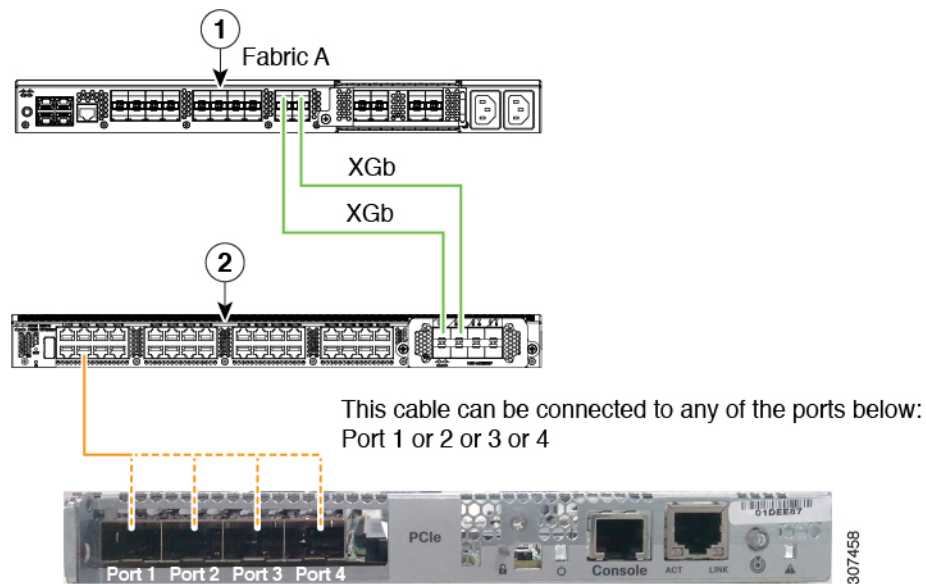
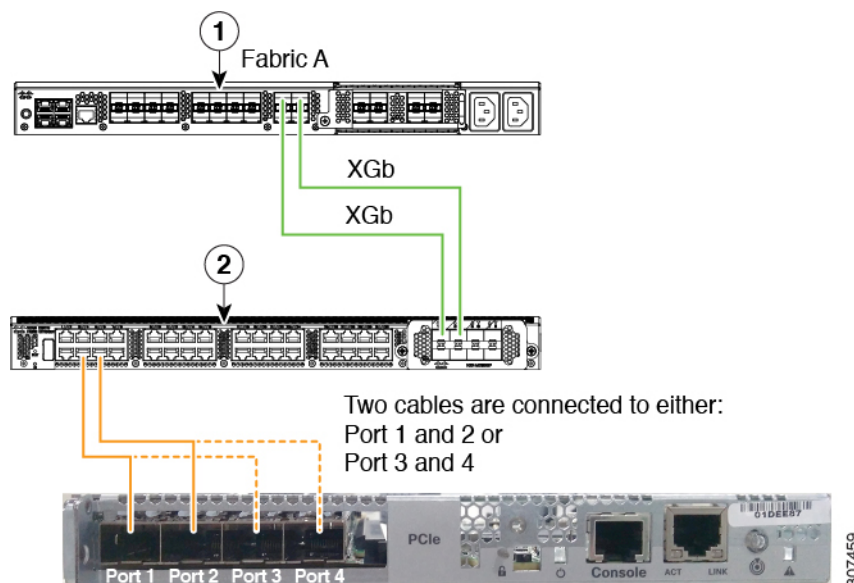


図 6 : Cisco VIC 1455/VIC 1457/VIC 1467/ VIC との SingleConnect の配線構成 - デュアル ケーブル



(注) XGb は 40 GB 接続または 10 GB 接続または 25 GB 接続を表します。10 ギガビットイーサネットの場合、次のケーブルが使用されます。

- 4 X 10 ブレークアウト Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブル
- 4 X 10 アクティブ光ケーブル (OAC)
- Qualified Security Assessor (QSA) モジュールを使用する 10G Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブル

25 ギガビットイーサネットの場合、次のケーブルが使用されます。

- 25 G SFP 28

統合後の Cisco UCS Manager でのラックマウント型サーバの管理

Cisco UCS ドメイン と統合されているすべてのラックマウント サーバを、Cisco UCS Manager によって管理し、モニタリングできます。統合後は、ラックマウントサーバの管理タスクはすべて Cisco UCS Manager GUI または Cisco UCS Manager CLI のサービス プロファイルからのみ実行します。Cisco UCS Manager によるサーバの管理を開始すると、C シリーズ ラックマウントサーバ Cisco IMC は使用できなくなります。

Cisco UCS Manager は、検出された各ラックマウント サーバに関する情報、エラー、および障害を提供します。

Cisco UCS Manager からの C シリーズ ラックマウント サーバ C-Series Rack-Mount Servers の管理の詳細については、使用しているリリースの『[Cisco UCS Manager Configuration Guide](#)』の「Managing Rack-Mount Servers」の章を参照してください。

サーバを Cisco UCS ドメイン モードからスタンドアロンモードへ戻す方法

Cisco UCS Manager ソフトウェアを使用して Cisco UCS C シリーズ サーバを管理すると、そのサーバに UCS Manager サービス プロファイルが関連付けられます。C シリーズ サーバをスタンドアロンモードに戻す（すなわち Cisco IMC ソフトウェアで管理できるようにする）場合は、UCS Manager で次の処理を行う必要があります。

- ステップ 1 サーバへの UCS Manager サービス プロファイルの関連付けを解除する。
- ステップ 2 アダプタからの接続を削除します。
- ステップ 3 手動でサーバの電源オンします。
- ステップ 4 前面パネル KVM 接続を接続します。
- ステップ 5 ブート中にアップ **F8** キーを押します。
- ステップ 6 CIMC を工場出荷時の初期状態またはスタンドアロンモードにリセットします。

注意 サーバへのサービス プロファイルの関連付けを解除しなかった場合、UCS Manager によって割り当てられた MAC および WWN 番号が引き続きサーバで維持されることがあります。これによって番号付けが重複し、UCS Manager で管理されている他のサーバとの間で競合が生じる可能性があります。さらに、サービス プロファイルの関連付けを解除せずにサーバをスタンドアロンモードに戻した場合、そのスタンドアロンサーバでは LSI RAID コントローラがブート可能デバイスとして表示されないため、ローカルでの再起動ができなくなります。

統合型サーバに関する特記事項

Cisco UCS システムの C シリーズ サーバに接続する場合は、次の点を確認してください:

- [FEX の考慮事項](#) (54 ページ)
- [Cisco VIC 1467 および VIC 15428 の接続性](#) (54 ページ)

FEX の考慮事項

FEX の稼働中止/再稼働後の接続先サーバの再確認

Cisco UCS FEX の稼働中止または再稼働後は、必ずその FEX に接続されているすべてのサーバを UCS Manager で再確認する必要があります。

Cisco VIC 1455 および 1457 の接続性

クラスタ設定では、ポート 1 および 2 を 1 つの FEX に接続します。別の FEX にポート 3 および 4 を接続します。非クラスタを設定するには、FEX に 1 および 2 ポートまたはポート 3 および 4 のいずれかを接続します。

Cisco VIC 1467 および VIC 15428 の接続性

クラスタ設定では、ポート 1 および 2 を 1 つの FEX に接続します。別の FEX にポート 3 および 4 を接続します。非クラスタを設定するには、FEX に 1 および 2 ポートまたはポート 3 および 4 のいずれかを接続します。



第 3 章

直接接続の設定

この章は、次の内容で構成されています。

- [直接接続モード \(55 ページ\)](#)
- [Cisco UCS Manager との直接接続モードでの統合の要件 \(56 ページ\)](#)
- [混合 VIC セットアップ用 Cisco UCS Manager 管理 \(61 ページ\)](#)
- [混合 VIC セットアップ用 Cisco UCS Manager 管理 \(62 ページ\)](#)
- [Cisco UCS Manager Management for Mixed VIC Set-up in C240 M5 Server \(62 ページ\)](#)
- [C220 M6 サーバーでの混合 VIC セットアップのための Cisco UCS Manager 管理 \(64 ページ\)](#)
- [C240 M6 サーバの混合 VIC セットアップ用 Cisco UCS Manager 管理 \(66 ページ\)](#)
- [C225 M6 サーバーでの混合 VIC セットアップのための Cisco UCS Manager 管理 \(68 ページ\)](#)
- [C245 M6 サーバーでの混合 VIC セットアップのための Cisco UCS Manager 管理 \(70 ページ\)](#)
- [管理接続ポリシーと接続モード \(72 ページ\)](#)
- [C シリーズ サーバと Cisco UCS ドメインとのクラスタ セットアップでの接続 \(73 ページ\)](#)
- [直接接続モードのクラスタ セットアップの物理的な接続の図 \(74 ページ\)](#)
- [C シリーズ サーバと UCS ドメインとの非クラスタ セットアップでの接続 \(77 ページ\)](#)
- [Physical Connectivity Illustrations for Direct Connect Mode Non-Cluster Setup \(78 ページ\)](#)
- [SingleConnect から直接接続モードへの C シリーズ サーバの移行 \(79 ページ\)](#)
- [デュアルワイヤ管理から直接接続モードへの C シリーズ サーバの移行 \(79 ページ\)](#)
- [統合後の Cisco UCS Manager でのラックマウント型サーバの管理 \(81 ページ\)](#)
- [サーバを Cisco UCS ドメインモードからスタンドアロンモードへ戻す方法 \(81 ページ\)](#)
- [統合型サーバに関する特記事項 \(82 ページ\)](#)

直接接続モード

リリース 3.1 以降、Cisco UCS Manager は、C シリーズ ラックマウント サーバをファブリック インターコネクタに直接接続するためのオプションをサポートしています。ファブリック エク

ステンダは不要です。このオプションを使用すれば、管理トラフィックとデータトラフィックの両方に単一のケーブルを使用して、Cisco UCS Manager で C シリーズ ラックマウント サーバを管理できます。



(注) FI とサーバを接続した後でサーバが検出されたときは、Cisco UCS Manager リリース 3.1 以降で使用可能な C シリーズ ソフトウェア バンドルを必ず更新します。

10G 接続で Cisco VIC 1385 および 1387 を使用している場合は、40G から 10G QSFP へのコンバータが必要になりますが、4 X 10 ブレークアウト Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブルおよび 4 X 10 アクティブ光ケーブル (OAC) を使用することはできません。

直接接続モードを使用する場合は、すべての Cisco UCS 管理対象アダプタを、ファブリックインターコネクトのサーバポートに接続する必要があります。[Cisco UCS Manager との直接接続モードでの統合の要件 \(56 ページ\)](#) に一覧表示されているサーバファームウェアを使用していることを確認してください。使用していない場合は、サーバファームウェアをアップグレードしてから、サーバを Cisco UCS Manager と統合してください。[C シリーズ サーバのファームウェアのアップグレード \(96 ページ\)](#) を参照してください。

VIF の拡張性

ファブリックインターコネクトに直接接続されているサーバの各アダプタで許可される仮想インターフェイスの最大数については、次のマニュアルを参照してください。

[『Cisco UCS Configuration Limits for Cisco UCS Manager Guide』](#)

Cisco UCS Manager との直接接続モードでの統合の要件

クラスタ セットアップの要件

クラスタ セットアップで、C シリーズ ラックマウント サーバと Cisco UCS Manager の直接接続の統合を作成するには、次の製品が必要です。

- Cisco UCS Manager リリース 3.1 以降を実行している Cisco UCS システム。
- 次の表に記載されているサポート対象の Cisco UCS C シリーズサーバのいずれかと対応する CIMC のリリースバージョン。

表 21: 直接接続モードの統合に最低限必要な Cisco IMC、BIOS、および Cisco UCS Manager のバージョン

サーバ	Cisco IMC	BIOS	UCS Manager
Cisco UCS C220 M4 サーバ (2.2.3 以降 が必要)	2.0(3d)	2.0.3	2.2(3a)

サーバ	Cisco IMC	BIOS	UCS Manager
Cisco UCS C240 M4 サーバ (2.2.3 以降 が必要)	2.0(3d)	2.0.3	2.2(3a)
Cisco UCS C460 M4 サーバ	1.5(7a)	1.5.7	2.2(2a)
Cisco UCS C220 M5 サーバ	3.1.1d	3.1.1i.0	3.2(1d)
Cisco UCS C240 M5 サーバ	3.1.1d	3.1.1h.0	3.2(1d)
Cisco UCS C240 SD M5 サーバ	4.1(2)	4.1(2)	4.1(2)
Cisco UCS C480 M5 サーバ	3.1(2b)	3.1.2a.0	3.2(2b)
Cisco UCS C125 M5 サーバ	4.0(1a)	4.0(1a)	4.0(1a)
Cisco UCS C480 M5 サーバ	3.1(2b)	3.1.2a.0	3.2(2b)
Cisco UCS C480 M5 ML サーバ	4.0(2a)	4.0(2a)	4.0(2a)
Cisco UCS C220 M6 サーバ	4.2(1)	4.2(1)	4.2(1)
Cisco UCS C240 M6 サーバ	4.2(1)	4.2(1)	4.2(1)
Cisco UCS C225 M6 サーバ	4.2(1)	4.2(1)	4.2(1)
Cisco UCS C245 M6 サーバ	4.2(1)	4.2(1)	4.2(1)



-
- (注) Cisco UCS C220 M4、C240 M4、C220 M5、ならびにC240 M5 サーバの場合は、MLOM または VIC を使用して、SingleConnect または直接接続モードで Cisco UCS Manager と統合できます。

Cisco UCS C125 M5 サーバMLOM をサポートしていません。Cisco UCS C125 M5 サーバはスロット 2 のみで、VIC カードを配置する必要があります。

接続アダプタは、次のように選択されます。

- **MLOM のみ** : サーバに MLOM のみ搭載されている場合、接続アダプタはデフォルトで MLOM です。
- **MLOM および VIC アダプタ** : MLOM がデフォルトの接続アダプタです。
- **MLOM なし** :
 - Cisco UCS C220 M4/C220 M5 の場合は、直接接続統合用に Riser1 (スロット 1) に VIC を装着する必要があります。
 - Cisco UCS C240 M4/C240 M5 の場合は、直接接続統合のために、スロット 1、2、4、または 5 のいずれかに VIC を装着できます。



-
- (注) VIC アダプタを使用する場合、統合用に 40 GB の接続を使用するには、MLOM を必ず取り外してください。



-
- (注) • **MLOM および VIC なし** : SingleConnect も直接接続もサポートされません。
-



重要 サーバーには、Cisco UCS VIC 1225、Cisco VIC 1227、Cisco VIC 1385、Cisco VIC 1387 MLOM、Cisco VIC 1455、Cisco VIC 1457 MLOM、Cisco VIC 1495、Cisco VIC 1497 MLOM、または Cisco VIC 1467 MLOM または、UCS VIC 15428 あるいは、UCS VIC 15238 を装着する必要があります。Cisco UCS VIC 1225 または Cisco VIC 1227 のファームウェアおよびブート ロードのバージョンは次の通りです。

- 推奨 : 2.1(0.457a)
- 最小限の要件 : 2.1(0.367e)

Cisco UCS VIC 1385 および 1387 MLOM の場合 :

- 推奨 : 4.1.1a
- 最小限 : 4.1.1a

Cisco UCS VIC 1455 および 1457 MLOM :

- 推奨 5.0(1a) 以降

Cisco UCS VIC 1495 および 1497 MLOM の場合:

- 5.0(2a) 以降を推奨

Cisco UCS VIC 1467 および 1477 MLOM の場合 :

- 5.0(1a) 以降を推奨

Cisco UCS 1225、Cisco UCS 1227、Cisco UCS 1385、Cisco UCS 1387、Cisco UCS 1455、Cisco UCS 1457、Cisco UCS 1467、および Cisco UCS 1477、Cisco UCS 1495、および Cisco UCS 1497

VIC は直接接続もサポートしています。Cisco UCS VIC を使用して直接接続している場合は、次の表に記載されているスロットのいずれかにカードを挿入してください。



(注) Cisco UCS Manager リリース 4.2 以降、M3 サーバーはサポートされていません。

表 22: 直接接続統合用の *Cisco VIC* スロット

サーバ	PCIe スロット
Cisco UCS C220 M4 サーバ	MLOM、1

サーバ	PCIe スロット
Cisco UCS C240 M4 サーバ	MLOM、1、2、4、5 (注) スロット2 および5 に GPU が装着されている場合、スロット1 および4 に VIC を配置します。
Cisco UCS C460 M4 サーバ	4、9、5、10
Cisco UCS C220 M5 サーバ	MLOM、1
Cisco UCS C240 M5 サーバ	MLOM、1、2、4、5 (注) スロット2 および5 に GPU が装着されている場合、スロット1 および4 に VIC を配置します。 スロットの組み合わせについては、 Cisco UCS Manager Management for Mixed VIC Set-up in C240 M5 Server (36 ページ) を参照してください。
Cisco UCS C240 SD M5 サーバ	MLOM、1、2
Cisco UCS C480 M5 サーバ	1、2
Cisco UCS C125 M5 サーバ	2
Cisco UCS C480 M5 サーバ	1、2
Cisco UCS C480 M5 ML サーバ	11、12
Cisco UCS C220 M6サーバ	MLOM、1、3
Cisco UCS C240 M6サーバ	MLOM、1、2、4、および5 (注) スロット2 および5 に GPU が装着されている場合、スロット1 および4 に VIC を配置します。
Cisco UCS C225 M6サーバ	MLOM、1、3

サーバ	PCIe スロット
Cisco UCS C245 M6サーバ	MLOM、1、2、4、および5 (注) スロット2および5にGPUが装着されている場合、スロット1および4にVICを配置します。

- Cisco UCS 6536 ファブリック インターコネクタまたは、Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクタ、Cisco UCS 6200 シリーズまたは 6300 シリーズ FI。ポートはサーバポートとして設定する必要があります。
- 1枚のカードに対して、少なくとも2本の10 Gb Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブル。
- 25G および 40G アダプタに接続する 25G ケーブルと 40G SFP ケーブル
- Cisco UCS M6 ラック サーバは、Cisco UCS 6300 または 6400 シリーズ ファブリック インターコネクタでのみサポートされ、Cisco UCS 6200 シリーズ ファブリック インターコネクタではサポートされません。

非クラスタ セットアップの要件

Cisco UCS Manager および C シリーズ ラック マウント サーバとともに、非クラスタ セットアップでサーバを統合する場合は、次のコンポーネントが必要です。

- 1 Cisco UCS 6536 ファブリック インターコネクタ、または Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクタ、Cisco UCS 6200 シリーズまたは 6300 シリーズのファブリック インターコネクタ。ポートはサーバポートとして設定する必要があります。
- カードごとに、少なくとも1本の10 Gb SFP ケーブル。両方のポートから同じ FI にカードを接続することはできません。

サーバ、Cisco VIC および FEX/IOM の互換性の詳細については、[Cisco UCS Manager リリース 4.2 のリリース ノート](#)の *Cisco UCS* ファブリック インターコネクタサーバの互換性マトリックス - リリース 4.2 (3) セクションを参照してください。

混合 VIC セットアップ用 Cisco UCS Manager 管理

Cisco UCS Manager は、Cisco UCS M6 サーバおよび混合 VIC カードによるセットアップを完全にはサポートしていません。

表 23: Cisco UCS Manager 管理

スロット	Cisco UCS Manager 管理
MLOMのみ。	MLOM がデフォルトの接続アダプタです。

スロット	Cisco UCS Manager 管理
MLOM アダプタと VIC アダプタの両方。	MLOM がデフォルトの接続アダプタです。
VIC アダプタのみ。MLOM はなし。	VIC アダプタは、単一接続または直接接続統合用にスロット 1 に取り付けることができます。

混合 VIC セットアップ用 Cisco UCS Manager 管理

Cisco UCS Manager は、Cisco UCS M5 サーバおよび混合 VIC カードによるセットアップを完全にはサポートしていません。

表 24: Cisco UCS Manager 管理

スロット	Cisco UCS Manager 管理
MLOM のみ。	MLOM がデフォルトの接続アダプタです。
MLOM アダプタと VIC アダプタの両方。	MLOM がデフォルトの接続アダプタです。
VIC アダプタのみ。MLOM はなし。	VIC アダプタは、単一接続または直接接続統合用にスロット 1 に取り付けることができます。

Cisco UCS Manager Management for Mixed VIC Set-up in C240 M5 Server

Cisco UCS Manager は、Cisco UCS C240 M5 サーバおよび混合 VIC カードのによるセットアップを完全にはサポートしていません。

表 25: Cisco UCS Manager 管理

スロット	Cisco UCS Manager 管理
スロット 1 およびスロット 2 の両方が使用されています。 スロット 1 : Cisco VIC 1455 スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ	Cisco UCS Manager はスロット 2 のみを検出します。

スロット	Cisco UCS Manager 管理
スロット 1 およびスロット 2 の両方が使用されています。 スロット 1 : Cisco VIC カードまたは Cisco VIC 1455 以外のサードパーティ製のアダプタ スロット 2 : Cisco VIC 1455	Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。
スロット 1 およびスロット 2 の両方が使用されています。 スロット 1 : Cisco VIC カードまたは Cisco VIC 1455 以外のサードパーティ製のアダプタ スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ	Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。
1 つのスロットのみ使用されています。 スロット 1 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ または スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ	Cisco UCS Manager はどちらのスロットが使用されているか検出します。
スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。 スロット 4 : Cisco VIC 1455 スロット 5 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ	Cisco UCS Manager はスロット 5 のみを検出します。
スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。 スロット 4 : Cisco VIC カードまたは Cisco VIC 1455 以外のサードパーティ製のアダプタ スロット 5 : Cisco VIC 1455	Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。
スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。 スロット 4 : Cisco VIC カードまたは Cisco VIC 1455 以外のサードパーティ製のアダプタ スロット 5 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ	Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。

スロット	Cisco UCS Manager 管理
<p>1つのスロットのみ使用されています。</p> <p>スロット4：Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>または</p> <p>スロット5：Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager はどちらのスロットが使用されているか検出します。</p>

C220 M6 サーバーでの混合 VIC セットアップのための Cisco UCS Manager 管理

Cisco UCS Manager は、Cisco UCS C220 M6サーバおよび混合 VIC カードのによるセットアップを完全にはサポートしていません。

表 26: Cisco UCS Manager 管理

スロット	Cisco UCS Manager 管理
<p>スロット1、スロット2、およびスロット3が使用されています。</p> <p>スロット1：Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p> <p>スロット2：Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット3：Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager はスロット2のみを検出します。</p>
<p>スロット1、スロット2、およびスロット3が使用されています。</p> <p>スロット1：Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット2：Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p> <p>スロット3：Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager は全てのスロットを検出します。</p>

スロット	Cisco UCS Manager 管理
<p>スロット 1、スロット 2、およびスロット 3 が使用されています。</p> <p>スロット 1 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 3 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager は全てのスロットを検出します。</p>
<p>1 つのスロットのみ使用されています。</p> <p>スロット 1 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>または</p> <p>スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>または</p> <p>スロット 3 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager はどちらのスロットが使用されているか検出します。</p>
<p>スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 4 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p> <p>スロット 5 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager はスロット 5 のみを検出します。</p>
<p>スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 4 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 5 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p>	<p>Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。</p>

スロット	Cisco UCS Manager 管理
スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。 スロット 4 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ スロット 5 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ	Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。
1 つのスロットのみ使用されています。 スロット 4 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ または スロット 5 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ	Cisco UCS Manager はどちらのスロットが使用されているか検出します。



(注) Cisco VIC 1495 は Cisco UCS 6300 シリーズ ファブリック インターコネクトでのみサポートされています。

C240 M6 サーバの混合 VIC セットアップ用 Cisco UCS Manager 管理

Cisco UCS Manager は、Cisco UCS C240 M6サーバ および 混合 VIC カードのによるセットアップを完全にはサポートしていません。

表 27: Cisco UCS Manager 管理

スロット	Cisco UCS Manager 管理
スロット 1 およびスロット 2 の両方が使用されています。 スロット 1 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ	Cisco UCS Manager はスロット 2 のみを検出します。

スロット	Cisco UCS Manager 管理
<p>スロット 1 およびスロット 2 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 1 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 2 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p>	<p>Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。</p>
<p>スロット 1 およびスロット 2 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 1 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。</p>
<p>1 つのスロットのみ使用されています。</p> <p>スロット 1 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>または</p> <p>スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager はどちらのスロットが使用されているか検出します。</p>
<p>スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 4 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p> <p>スロット 5 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager はスロット 5 のみを検出します。</p>
<p>スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 4 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 5 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p>	<p>Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。</p>

スロット	Cisco UCS Manager 管理
スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。 スロット 4 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ スロット 5 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ	Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。
1 つのスロットのみ使用されています。 スロット 4 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ または スロット 5 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ	Cisco UCS Manager はどちらのスロットが使用されているか検出します。



(注) Cisco VIC 1495 は Cisco UCS 6300 シリーズ ファブリック インターコネクタでのみサポートされています。

C225 M6 サーバーでの混合 VIC セットアップのための Cisco UCS Manager 管理

Cisco UCS Manager は、Cisco UCS C225 M6サーバ および 混合 VIC カードのによるセットアップを完全にはサポートしていません。

表 28 : Cisco UCS Manager 管理

スロット	Cisco UCS Manager 管理
スロット 1、スロット 2、およびスロット 3 が使用されています。 スロット 1 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ スロット 3 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ	Cisco UCS Manager はスロット 2 のみを検出します。

スロット	Cisco UCS Manager 管理
<p>スロット 1、スロット 2、およびスロット 3 が使用されています。</p> <p>スロット 1 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 2 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p> <p>スロット 3 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager は全てのスロットを検出します。</p>
<p>スロット 1、スロット 2、およびスロット 3 が使用されています。</p> <p>スロット 1 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 3 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager は全てのスロットを検出します。</p>
<p>1 つのスロットのみ使用されています。</p> <p>スロット 1 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>または</p> <p>スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>または</p> <p>スロット 3 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager はどちらのスロットが使用されているか検出します。</p>
<p>スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 4 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p> <p>スロット 5 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager はスロット 5 のみを検出します。</p>

スロット	Cisco UCS Manager 管理
<p>スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 4 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 5 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p>	Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。
<p>スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 4 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 5 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。
<p>1 つのスロットのみ使用されています。</p> <p>スロット 4 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>または</p> <p>スロット 5 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	Cisco UCS Manager はどちらのスロットが使用されているか検出します。

C245 M6 サーバーでの混合 VIC セットアップのための Cisco UCS Manager 管理

Cisco UCS Manager は、Cisco UCS C245 M6サーバ および 混合 VIC カードのによるセットアップを完全にはサポートしていません。

表 29: Cisco UCS Manager 管理

スロット	Cisco UCS Manager 管理
<p>スロット 1 およびスロット 2 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 1 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p> <p>スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager はスロット 2 のみを検出します。</p>
<p>スロット 1 およびスロット 2 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 1 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 2 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p>	<p>Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。</p>
<p>スロット 1 およびスロット 2 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 1 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。</p>
<p>1 つのスロットのみ使用されています。</p> <p>スロット 1 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p> <p>または</p> <p>スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager はどちらのスロットが使用されているか検出します。</p>
<p>スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。</p> <p>スロット 4 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495</p> <p>スロット 5 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ</p>	<p>Cisco UCS Manager はスロット 5 のみを検出します。</p>

スロット	Cisco UCS Manager 管理
スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。 スロット 4 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ スロット 5 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495	Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。
スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。 スロット 4 : Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1495 以外の Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ スロット 5 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ	Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。
1 つのスロットのみ使用されています。 スロット 4 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ または スロット 5 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ	Cisco UCS Manager はどちらのスロットが使用されているか検出します。



(注) Cisco VIC 1495 は Cisco UCS 6300 シリーズ ファブリック インターコネクトでのみサポートされています。

管理接続ポリシーと接続モード

Cisco UCS ドメインの C シリーズ ラックマウント サーバに対する物理接続を確立する場合は、Cisco UCS Manager GUI または Cisco UCS Manager CLI で接続モードと管理ポリシーを指定する必要があります。管理ポリシーは、接続されているすべての C シリーズ ラックマウント サーバに対してグローバルです。接続モードにより、Cisco UCS Manager でのラック サーバの検出方法が決まります。

ラック サーバには、次のいずれかの接続ポリシーを指定できます。

- **自動確認**：これは C シリーズ ラックマウント サーバに推奨されるデフォルトの接続モードです。接続モードが自動確認の場合、Cisco UCS Manager は、物理接続が確立されると

すぐにラックサーバを検出し、指定された管理ポリシーに基づいてサーバの管理を開始します。

- **ユーザー確認**：接続モードがユーザー確認の場合、物理接続を確立後、手動で接続を確認し、Cisco UCS Manager GUI または Cisco UCS Manager CLI で接続モードを指定して、検出を開始する必要があります。Cisco UCS Manager は、ユーザーが接続モードを指定するまで、C シリーズ ラックマウント サーバの検出を開始しません。詳細な手順については、[接続モードの手動認識：GUI \(27 ページ\)](#) または [接続モードの手動認識：CLI \(27 ページ\)](#) を参照してください。



- (注) Cisco UCS Manager によってラックサーバが検出され、管理されている場合、1 台の C シリーズ ラックマウント サーバの既存の接続モードを変更するには、そのサーバを停止してから再起動して、新しい接続モードを指定する必要があります。Cisco UCS Manager は、その時初めて、新しい接続モードでサーバを検出できるようになります。

C シリーズサーバと Cisco UCS ドメインとのクラスタ セットアップでの接続

始める前に



重要 Cisco UCS Manager と統合するには、サーバの Cisco IMC が工場出荷時の設定に設定されていることを確認してください。

- FI ポートがサーバポートとして設定されていることを確認します。設定されていない場合は、Cisco UCS Manager GUI を使用して、サーバポートとして再設定します。
- サーバを接続する前に、Cisco UCS Manager との統合用の正しいスロットに Cisco UCS VIC が装着されていることを確認します。カードが正しいスロットに装着されていない場合、サーバの直接接続管理を有効にできません。

ステップ 1 ラックにサーバを設置します。使用しているサーバの『*Install and Upgrade Guide*』を参照してください。インストールガイドは、次の URL から入手できます。 [Install and Upgrade Guides](#)

ステップ 2 FI でサーバポートを設定します。

ステップ 3 Cisco UCS VIC アダプタからのパスを FI のサーバポートに接続します。

- a) サーバと FIA の 1 つのポートの間をサポートされている 1 本の SFP ケーブルで接続します。FIA の任意のポートを使用できますが、サーバトラフィックに対応可能なポートである必要があります。

VIC から 1 本のケーブルを 1 枚のカードの FI に接続します。両方のポートを同じ FI に接続することはできません。

- b) サーバと FI B の 1 つのポートの間をサポートされている 1 本の SFP ケーブルで接続します。FI B の任意のポートを使用できますが、サーバトラフィックに対応可能なポートである必要があります。

(注) ・アップリンクで SFP タイプを混在使用しないでください。混在させると、「Discovery Failed」エラーが表示されます。

・C シリーズの統合のネットワーク トポロジとケーブル接続の詳細については、「[ネットワーク トポロジとサポート対象ケーブル \(9 ページ\)](#)」の項を参照してください。

ステップ 4 電源コードをサーバの各電源装置に接続し、次に接地された AC 電源コンセントにコードを接続します。

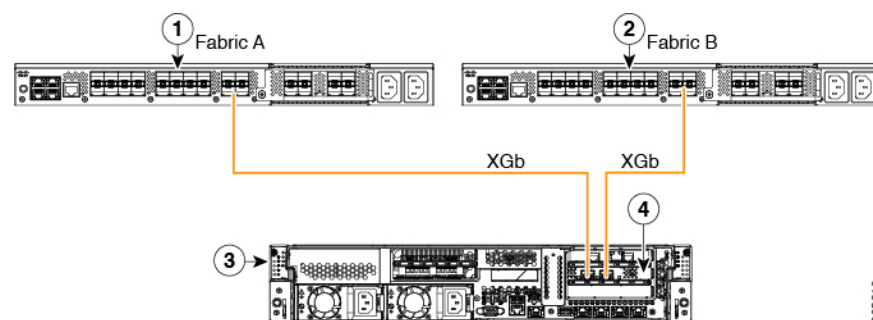
電源を入れるとサーバ ディスカバリが開始されます。

直接接続モードのクラスタ セットアップの物理的な接続の図

次の図は、C シリーズ ラックマウント サーバと Cisco UCS ドメイン、Cisco UCS Manager リリース 3.1 以降との直接接続モードの物理接続の例を示しています。次の図は、C シリーズ ラックマウントサーバと Cisco UCS Manager を統合する場合の配線構成を示しています。ゴールドで示されたパスでは、管理トラフィックとデータトラフィックの両方が伝送されます。

示されている図は、例としてのみ示しています。機器設定は、サーバー、FI と FEX によって変わります。

図 7: 直接接続ケーブル配線の設定

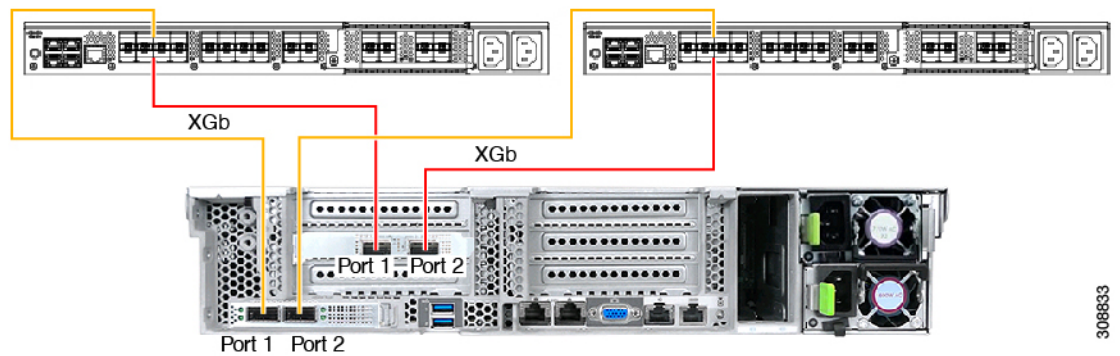


C シリーズ ラックマウント サーバ上の Cisco IMC は、最初のアダプタを管理およびデータ接続に使用し、2 番目のアダプタをデータ接続にのみ使用します。ラックサーバ上のすべての仮想インターフェイスは、両方のファブリック インターコネクトアダプタに接続する必要があります。異なる設定では、特定の設定が必要です。詳細な手順については、該当する『*C-Series Integration Guide*』の「*Direct Connect Mode Cluster Setup*」の物理接続の図の項に記載されている情報を使用してください。

次の図は、UCS Manager とデュアル Cisco VIC アダプタを持つ C シリーズラック マウントサーバを統合する場合の配線構成を示しています。最初のアダプタは管理専用として構成可能で、2 番目のアダプタはデータ トラフィックのみとして構成できます。金色のパスは管理を伝送し、赤色のパスはデータ トラフィックを伝送します。

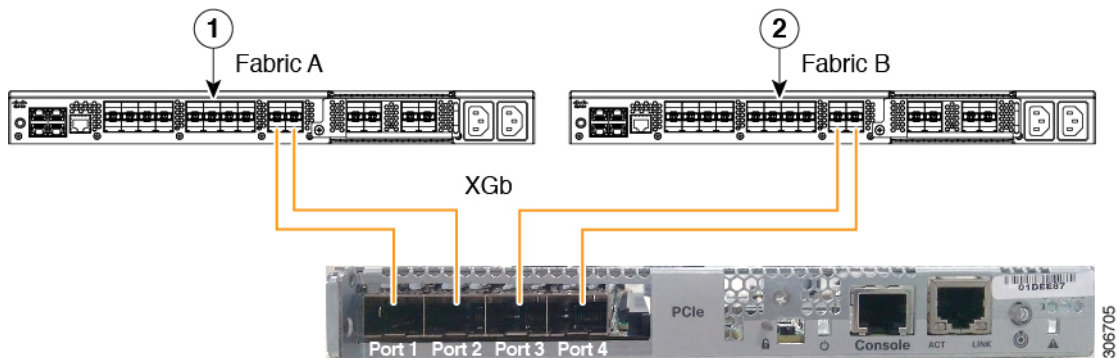
異なるサーバでは、管理用に異なるスロット位置が必要です。適切な C シリーズラックサーバの仕様書を参照して、ネットワーク通信サービスインターフェイス プロトコル サポート (NCSI) を持つスロットを見つけ、管理として使用します。

図 8: デュアル アダプタの直接接続の配線設定



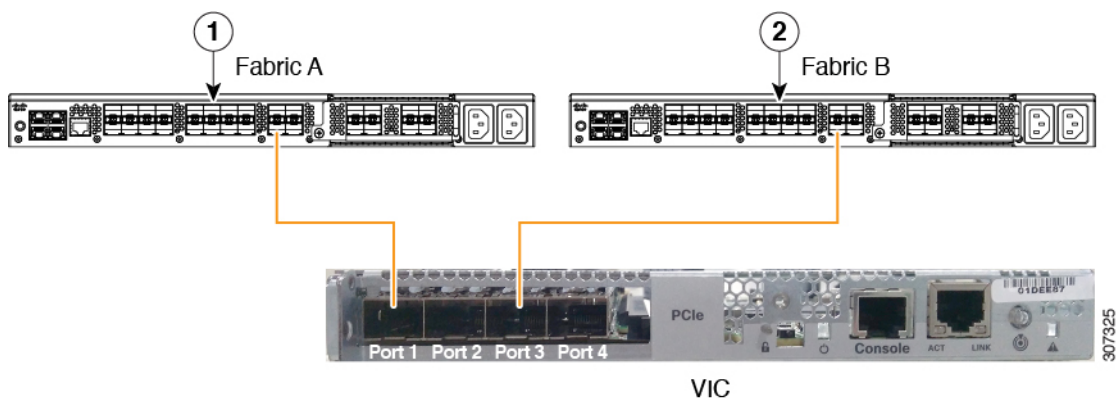
308833

図 9: Cisco VIC 1455 との直接接続の配線構成 (4 ポート リンク)



306705

図 10: Cisco VIC 1455 との直接接続の配線構成 (2 ポート リンク)



307325



(注) ポート 1 とポート 2 (3 および 4) の間の接続は内部ポートチャネルを形成するため、ポート 1 および 3 が使用されます。



注意 ポート 1 をファブリック インターコネクタ A、ポート 2 をファブリック インターコネクタ B に接続しないでください。ポート 1 および 3 のみを使用してください。ポート 1 とポート 2 のみを使用すると、検出や設定に失敗します。

XGb は 40 ギガビット イーサネット接続または 10 ギガビット イーサネット接続を表します。10 ギガビット イーサネットの場合、次のケーブルが使用されます。

- 4 X 10 ブレークアウト Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブル
- 4 X 10 アクティブ光ケーブル (OAC)
- Qualified Security Assessor (QSA) モジュールを使用する 10G Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブル

1	Cisco UCS 6536 ファブリック インターコネクタまたは、Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクタまたは、Cisco UCS 6200 シリーズあるいは、6300 FI (ファブリック A)	3	C シリーズ ラックマウント サーバ
2	Cisco UCS 6536 ファブリック インターコネクタまたは、Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクタあるいは、Cisco UCS 6200 シリーズまたは 6300 FI (ファブリック B)	4	サポート対象 PCIe スロット内の Cisco UCS VIC

XGb は 40 ギガビット イーサネット接続または 10 ギガビット イーサネット接続を表します。10 ギガビット イーサネットの場合、次のケーブルが使用されます。

- 4 X 10 ブレークアウト Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブル
- 4 X 10 アクティブ光ケーブル (OAC)
- Qualified Security Assessor (QSA) モジュールを使用する 10G Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブル

1	、Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクタまたは Cisco UCS 6200 シリーズまたは 6300 FI (ファブリック A)	3	C シリーズ ラックマウント サーバ
---	---	---	--------------------

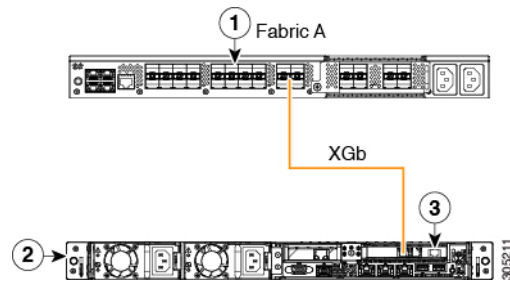
2	、Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクトまたはCisco UCS 6200 シリーズまたは 6300 FI (ファブリック B)	4	サポート対象 PCIe スロット内の Cisco UCS VIC
---	--	---	----------------------------------

C シリーズサーバと UCS ドメインとの非クラスタ セットアップでの接続

非クラスタセットアップで、C シリーズサーバと UCS ドメインを接続する場合は、[C シリーズサーバと Cisco UCS ドメインとのクラスタセットアップでの接続 \(73 ページ\)](#) で説明されているのと同じ手順を実行します。ただし、クラスタセットアップのように、2 つの FI を使用して 2 本のケーブルを接続する代わりに、1 つの FI と 1 本のケーブルのみをアダプタに接続します。

図 11: 直接接続モードの非クラスタ セットアップの物理的な接続の図

次の図は、サーバと Cisco UCS Manager を統合する場合の配線構成を示しています。ゴールドで示されたパスでは、管理トラフィックとデータトラフィックの両方が伝送されます。



(注) XGb は 40 ギガビットイーサネット接続または 10 ギガビットイーサネット接続を表します。10 ギガビットイーサネットの場合、次のケーブルが使用されます。

- 4 X 10 ブレークアウト Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブル
- 4 X 10 アクティブ光ケーブル (OAC)
- Qualified Security Assessor (QSA) モジュールを使用する 10G Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブル

1	Cisco UCS 6200 シリーズまたは 6300 FI (ファブリック A)	2	C シリーズラックマウントサーバ
		3	サポート対象 PCIe スロット内の Cisco VIC。

Physical Connectivity Illustrations for Direct Connect Mode Non-Cluster Setup

次の図は、C シリーズ ラックマウント サーバと Cisco UCS ドメイン、Cisco UCS Manager リリース 3.1 以降との直接接続モードの物理接続の例を示しています。次の図は、C シリーズ ラックマウントサーバと Cisco UCS Manager を統合する場合の配線構成を示しています。ゴールドで示されたパスでは、管理トラフィックとデータトラフィックの両方が伝送されます。

与えられた画像は、例としてのみ使用されます。機器設定は、サーバー、FI と FEX によって変わります。

次の図は、Cisco UCS VIC 1455 に記載されています。ポート接続は、Cisco UCS VIC 1457、VIC 1467 および VIC 15428 で同じままです。

図 12: Cisco VIC 1455/1457 (単一ケーブル構成) との直接接続の配線構成

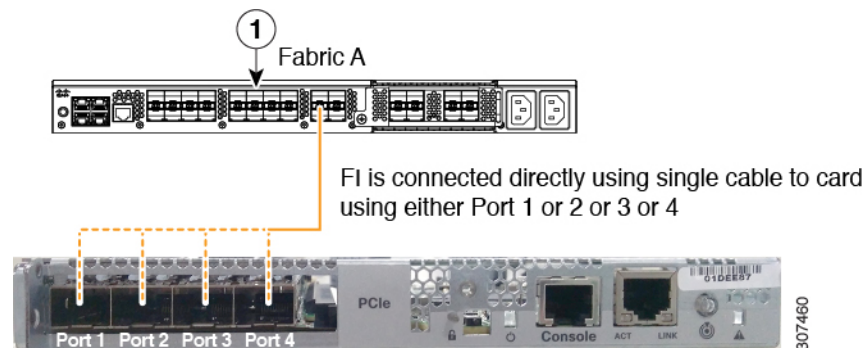
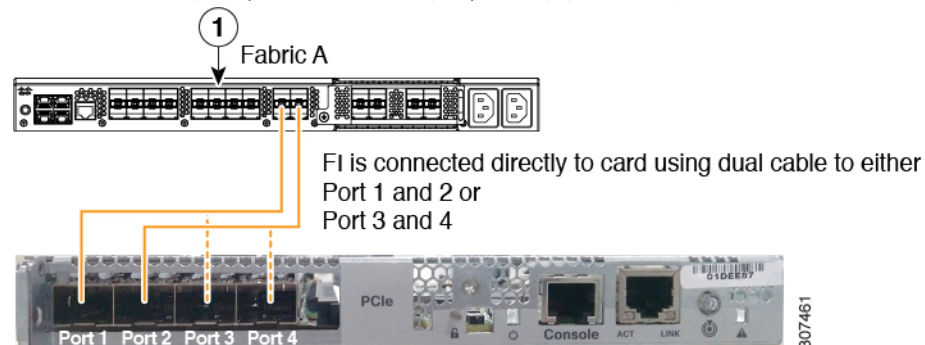


図 13: Cisco VIC 1455/1457 (デュアルケーブル構成) との直接接続の配線構成



XGb は 40 ギガビット イーサネット接続または 10 ギガビット イーサネット接続を表します。10 ギガビット イーサネットの場合、次のケーブルが使用されます。

- 4 X 10 ブレークアウト Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブル
- 4 X 10 アクティブ光ケーブル (OAC)
- Qualified Security Assessor (QSA) モジュールを使用する 10G Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブル

SingleConnect から直接接続モードへの C シリーズ サーバの移行

この移行手順を実行する前に、Cisco UCS Manager GUI の [Global Policies] ページで、[**Rack Discovery Policy**] と [**Rack Management Connection Policies**] を [Immediate] や [Auto Acknowledge] などのデフォルトに設定してください。そうすることで、サーバを FI に直接接続すると、すぐにそのサーバが検出され、ユーザの操作を待たずに、Cisco UCS Manager によるサーバの管理が開始されます。



注意 SingleConnect FEX 接続から直接接続への移行は、中断の生じるプロセスです。この移行は、スケジュールされた停止時間内に行ってください。この手順は、完了するまで 15~20 分かかる場合があります。

ステップ 1 FI でサーバ ポートを設定します。

ステップ 2 FEX からケーブルを外して、ファブリック インターコネクトで設定されたサーバ ポートに接続します。

ステップ 3 Cisco UCS Manager GUI でサーバを右クリックして、ポップアップメニューから [**Recover Server**] または [**Server Maintenance**] を選択します。

ステップ 4 [Re-acknowledge] クリックして、[OK] を選択します。

これでサーバが再起動します。

サーバを再起動したら、通常の運用を再開できます。

デュアルワイヤ管理から直接接続モードへの C シリーズ サーバの移行

この移行手順を実行する前に、Cisco UCS Manager GUI の [Global Policies] ページで、[**Rack Discovery Policy**] と [**Rack Management Connection Policies**] を [Immediate] や [Auto Acknowledge] などのデフォルトに設定してください。そうすることで、サーバを FI に直接接続すると、すぐにそのサーバが検出され、ユーザの操作を待たずに、Cisco UCS Manager によるサーバの管理が開始されます。

**注意**

- デュアルワイヤ FEX 接続から直接接続への移行は、中断の生じるプロセスです。この移行は、スケジュールされた停止時間内に行ってください。この手順は、完了するまで15~20分かかる場合があります。
- 移行を実行する前にサーバを停止する必要があります。

デュアルワイヤ管理モードで接続されているサーバに対して直接接続モードを有効にするには、アダプタを変更する必要があります。アダプタを変更すると、ベアメタル Windows システムのPCIeの番号付けに影響を与えることがあります。OSにリストされているアダプタを変更すると、それらはアダプタ3と4になります。スタティックアドレスを使用している場合は、サーバから前のアダプタを取り外す必要があります。詳細については、<http://support.microsoft.com/kb/269155>を参照してください。

ステップ1 FIでサーバポートを設定します。

ステップ2 サーバの稼働を中止する。

ステップ3 Cisco UCS VIC 1225、Cisco UCS VIC 1227、Cisco UCS VIC 1385、またはCisco UCS VIC 1455を使用していない場合は、サーバでCisco UCS VICを物理的に変更します。

- a) サーバの背面から、電源ケーブル、Management LOMとSFP Twinax接続ケーブルを外します。
- b) サーバをスライドしてラックから外し、上部カバーを取り外します。
- c) PCIeライザカードをスロットから外し、既存のアダプタを取り外して、Cisco UCS VIC 1225を装着します。
- d) PCIeライザカードをスロットに再度装着し、上部カバーをサーバに戻し、サーバを押し戻してラックに戻します。
- e) (任意) デュアルワイヤモードで、FEXをサーバに接続する必要がなくなった場合は、FEXをCisco UCS Managerから外し、電源を入れて、ラックサーバからFEXを取り外します。

ステップ4 Cisco VICのポートからFIのポートにSFP Twinaxケーブルを接続します。

ステップ5 サーバに電源ケーブルを再度接続します。

CIMCがスタンバイになるので、サーバの電源を入れる必要はありません。

次のタスク

Cisco UCS Manager GUIからサーバを再コミッションします。再起動が完了すると、サーバが運用可能になり、サービスプロファイルをサーバに適用できます。

統合後の Cisco UCS Manager でのラックマウント型サーバの管理

Cisco UCS ドメイン と統合されているすべてのラックマウント サーバを、Cisco UCS Manager によって管理し、モニタリングできます。統合後は、ラックマウントサーバの管理タスクはすべて Cisco UCS Manager GUI または Cisco UCS Manager CLI のサービス プロファイルからのみ実行します。Cisco UCS Manager によるサーバの管理を開始すると、C シリーズ ラックマウント サーバ Cisco IMC は使用できなくなります。

Cisco UCS Manager は、検出された各ラックマウント サーバに関する情報、エラー、および障害を提供します。

Cisco UCS Manager からの C シリーズ ラックマウント サーバ C-Series Rack-Mount Servers の管理の詳細については、使用しているリリースの『[Cisco UCS Manager Configuration Guide](#)』の「Managing Rack-Mount Servers」の章を参照してください。

サーバを Cisco UCS ドメイン モードからスタンドアロンモードへ戻す方法

Cisco UCS Manager ソフトウェアを使用して Cisco UCS C シリーズ サーバを管理すると、そのサーバに UCS Manager サービス プロファイルが関連付けられます。C シリーズ サーバをスタンドアロンモードに戻す（すなわち Cisco IMC ソフトウェアで管理できるようにする）場合は、UCS Manager で次の処理を行う必要があります。

- ステップ 1 サーバへの UCS Manager サービス プロファイルの関連付けを解除する。
- ステップ 2 アダプタからの接続を削除します。
- ステップ 3 手動でサーバの電源オンします。
- ステップ 4 前面パネル KVM 接続を接続します。
- ステップ 5 ブート中にアップ **F8** キーを押します。
- ステップ 6 CIMC を工場出荷時の初期状態またはスタンドアロンモードにリセットします。

注意 サーバへのサービス プロファイルの関連付けを解除しなかった場合、UCS Manager によって割り当てられた MAC および WWN 番号が引き続きサーバで維持されることがあります。これによって番号付けが重複し、UCS Manager で管理されている他のサーバとの間で競合が生じる可能性があります。さらに、サービス プロファイルの関連付けを解除せずにサーバをスタンドアロンモードに戻した場合、そのスタンドアロンサーバでは LSI RAID コントローラがブート可能デバイスとして表示されないため、ローカルでの再起動ができなくなります。

統合型サーバに関する特記事項

Cisco UCS システムの C シリーズ サーバに接続する場合は、次の点を確認してください:

- [VIC 1455、VIC 1457 または VIC 1467 アダプタと UCS 6300 ファブリック インターコネク ト間の単一リンク ポート チャンネル \(82 ページ\)](#)

VIC 1455、VIC 1457 または VIC 1467 アダプタと UCS 6300 ファブリック インターコネク ト間の単一リンク ポート チャンネル

Cisco UCS Manager リリース 4.0(1a) 以降では、UCS 6300 シリーズ ファブリック インターコネク トに直接接続しているラックサーバ上で、VIC 1455、1457 または 1467 アダプタ間の単一リンク ポート チャンネルのみサポートしています。

VIC 1455、1457 または 1467 アダプタおよび UCS 6300 シリーズ ファブリック インターコネク ト間に、2 個目のポート チャンネル リンクを追加しないでください。



第 4 章

デュアルワイヤ管理の設定

この章は、次の内容で構成されています。

- [デュアルワイヤ管理 \(83 ページ\)](#)
- [Cisco UCS Manager とのデュアルワイヤ統合の要件 \(83 ページ\)](#)
- [C シリーズ サーバと Cisco UCS ドメインとのクラスタ セットアップでの接続 \(87 ページ\)](#)
- [クラスタ セットアップの物理的な接続の図 \(88 ページ\)](#)
- [C シリーズ サーバと UCS ドメインとの非クラスタ セットアップでの接続 \(90 ページ\)](#)
- [統合後の Cisco UCS Manager でのラックマウント型サーバの管理 \(91 ページ\)](#)
- [サーバを Cisco UCS ドメインモードからスタンドアロンモードへ戻す方法 \(91 ページ\)](#)
- [統合型サーバに関する特記事項 \(92 ページ\)](#)

デュアルワイヤ管理

Cisco UCS Manager 共有 LOM を通じて既存のラック サーバ統合および管理オプションがサポートされ、データトラフィックと管理トラフィックに 2 本の異なるケーブルが使用されます。Cisco UCS Manager と統合するための前提条件は、C シリーズ サーバに組み込まれています。Cisco UCS Manager と統合するための正しいサーバファームウェアを使用していることを確認してください。使用していない場合は、サーバファームウェアをアップグレードしてから、サーバを Cisco UCS Manager と統合してください。『[Cisco UCS Host Upgrade Utility, User Guide](#)』を参照してください。

Cisco UCS Manager とのデュアルワイヤ統合の要件



- (注) Cisco UCS 6536 ファブリック インターコネクトは、デュアルワイヤ統合をサポートしていません。

クラスタ セットアップの要件

次に、クラスタセットアップでの C シリーズ サーバと Cisco UCS Manager との統合の要件を示します。

- Cisco UCS Manager を実行する Cisco UCS システム。
- デュアルワイヤ統合をサポートするアダプタ。



(注) デュアルワイヤ管理は Cisco VIC アダプタでのみサポートされており、サードパーティ製アダプタではサポートされていません。カードの完全な一覧については、[サポートされる C シリーズサーバとアダプタカード \(7 ページ\)](#) を参照してください。

- 任意の Cisco UCS C シリーズ サーバおよび対応する Cisco UCS Manager リリースバージョン。



(注) • Cisco UCS VIC 1225、Cisco VIC 1227、Cisco VIC 1225T、Cisco VIC 1227T、Cisco VIC 1385、Cisco VIC 1387 MLOM、Cisco VIC 1467 MLOM、または Cisco VIC 1477 MLOM もデュアルワイヤ管理をサポートしています。

デュアルワイヤ管理に Cisco UCS VIC を使用している場合は、次の表に記載されているスロットのいずれかにカードを挿入してください。



(注) Cisco UCS Manager リリース 4.2 以降、M3 サーバーはサポートされていません。

表 30: デュアルワイヤ統合用の **Cisco UCS VIC** スロット

サーバ	PCIe スロット
Cisco UCS C220 M4 サーバ	任意の x16 スロット
Cisco UCS C240 M4 サーバ	任意の x16 スロット
Cisco UCS C460 M4 サーバ	2、3、4、5、7、8、9、10 (注) スロット 1 と 6 に、Cisco VIC 1225 を装着することはできません。
Cisco UCS C220 M5 サーバ	任意のスロット
Cisco UCS C240 M5 サーバ	任意のスロット

サーバ	PCIe スロット
Cisco UCS C240 SD M5 サーバ	MLOM、1、2
Cisco UCS C480 M5 サーバ	1 ~ 8
Cisco UCS C480 M5 サーバ	1 ~ 8
Cisco UCS C480 M5 ML サーバ	11, 12, 13, 14
Cisco UCS C220 M6サーバ	任意のスロット
Cisco UCS C240 M6サーバ	任意のスロット

- 2 系統の Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクト または Cisco UCS 6200 シリーズ または 6300 シリーズの FI。サーバトラフィックを伝送するスイッチポートがサーバポートとしてイネーブルになっている必要があります。
- 次の FEX タイプのうち 2 つを使用できます。
 - Cisco Nexus 2232PP
 - Cisco Nexus 2232TM-E
 - Cisco Nexus 2348UPQ



- (注)
- Cisco Nexus 2232PP または 2232TM-E FEX は 6200 シリーズ FI に、Cisco Nexus 2232PP、2232 TM-E、または 2348UPQ は 6300 シリーズ FI に接続できます。
 - FEX の 2 つの電源装置それぞれに電源コードを接続する必要があります。電源装置が電源に接続されていない場合は、電源投入時自己診断テスト (POST) 中に「重大な」障害の報告が表示されることがあります。たとえば、「Power supply 1 in fex 6 power: error」などです。不足している電源コードを FEX 電源装置に接続すると、これらのエラーをクリアできます。

- RJ-45 イーサネット ケーブル × 2。RJ-45 イーサネット ケーブルは、管理トラフィックパスの接続に使用されます。
- 1000BASE-T SFP トランシーバ (GLC-T) × 2。
- 10 Gb Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブル × 4。



- (注)
- 各 FEX と対応する FI の接続用ケーブル X 1 (最小限)。
 - サーバと FEX の間のデータトラフィックパスのリンク用ケーブル X 2 (最小限)。
 - FEX から FI へのアップリンク用ケーブル X 4 (最小限)。10 Gb ツインアキシャルケーブルか、次の SFP タイプのケーブルのいずれかを使用できます。
 - SFP - 10GE-SR
 - FET - 10GE



重要 アップリンクで SFP タイプを混在使用しないでください。アップリンクで SFP のタイプを混在させると、「Discovery Failed」エラーが表示されます。

非クラスタ セットアップの要件

Cisco UCS Manager および C シリーズラック マウント サーバとともに、非クラスタ セットアップでサーバを統合する場合は、次のコンポーネントが必要です。

- 1 系統の Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクタまたは Cisco UCS 6200 シリーズまたは 6300 シリーズのファブリック インターコネクタ。ファブリック エクステンダ (FEX) を接続するスイッチ ポートは、サーバポートとしてマークする必要があります。
- 次のいずれかの FEX タイプを使用できます。
 - Cisco Nexus 2232PP
 - Cisco Nexus 2232TM-E
 - Cisco Nexus 2348UPQ
- RJ-45 イーサネット ケーブル X 1。RJ-45 イーサネット ケーブルは、管理トラフィックパスを接続します。
- 1000BASE-T SFP トランシーバ (GLC-T) X 1。
- 10 Gb SFP ケーブル X 3。



- (注)
- 6200 シリーズ FI を使用している場合は、少なくとも 4 本の SFP ケーブルが必要です。
 - サーバと FEX の間のデータ トラフィック パスの接続用のケーブル X 2。
 - FEX からファブリック インターコネクタへのアップリンク用のケーブル X 4。FEX から FI へのアップリンクに使用する 4 本の各ケーブルでは、サポートされている 10 Gb ツインアクシシャルケーブルか、次の SFP タイプのケーブルのいずれかを使用できます。
 - SFP - 10GE-SR
 - FET - 10GE

C シリーズサーバと Cisco UCS ドメインとのクラスタ セットアップでの接続

各 C シリーズラックマウントサーバの接続の図については、[クラスタセットアップの物理的な接続の図 \(88 ページ\)](#) を参照してください。



- 重要** Cisco UCS Manager と統合するには、サーバの Cisco IMC が工場出荷時の設定に設定されていることを確認してください。

- ステップ 1** ラックにサーバを設置します。使用しているサーバの『*Install and Upgrade Guide*』を参照してください。インストールガイドは、次の URL から入手できます。[Install and Upgrade Guides](#)
- ステップ 2** 管理トラフィックのパスを接続するには、次の手順を実行します。
- a) GLC-T トランシーバをファブリック A に接続されている FEX のポートに挿入します。FEX の任意のポートを使用できます。
 - b) GLC-T トランシーバをファブリック B に接続されている FEX のポートに挿入します。FEX の任意のポートを使用できます。
 - c) サーバの背面パネルにある 1 Gb ポートと、ファブリック A の FEX に挿入したトランシーバとの間を、RJ-45 イーサネット ケーブルで接続します。
 - d) サーバの背面パネルにある 1 Gb ポートと、ファブリック B の FEX に挿入したトランシーバとの間を、RJ-45 イーサネット ケーブルで接続します。
- ステップ 3** データ トラフィックのパスを接続するには、次の手順を実行します。

- a) サーバのアダプタ カードとファブリック A の FEX のポートの間をサポートされている SFP ケーブルで接続します。FEX の任意のポートを使用できます。
- b) サーバのアダプタ カードとファブリック B の FEX のポートの間をサポートされている SFP ケーブルで接続します。FEX の任意のポートを使用できます。

ステップ 4 FEX から FI へのパスを接続します。これらのパスでは、データ トラフィックと管理トラフィックの両方が伝送されます。

- a) FEX A と FIA の 2 つのポートの間をサポートされている 2 本の SFP ケーブルで接続します。FIA の任意のポートを使用できますが、サーバトラフィックに対応可能なポートである必要があります。
- b) FEX B と FIB の 2 つのポートの間をサポートされている 2 本の SFP ケーブルで接続します。FIB の任意のポートを使用できますが、サーバトラフィックに対応可能なポートである必要があります。
 - C シリーズの統合のネットワーク トポロジとケーブル接続の詳細については、「[ネットワーク トポロジとサポート対象ケーブル \(9 ページ\)](#)」の項を参照してください。
 - FEX では、アップリンクに 8 ポートの右側のブロックだけを使用できます。
 - アップリンクの最大数は 8 です。FEX と FI との間でのポートの配線に関する要件は、Cisco UCS Manager の FI ディスカバリ ポリシーに基づいて変化します。
 - アップリンクで SFP タイプを混在使用しないでください。混在させると、「Discovery Failed」というエラーが発生します。

ステップ 5 電源コードをサーバの各電源装置に接続し、次に接地された AC 電源コンセントにコードを接続します。

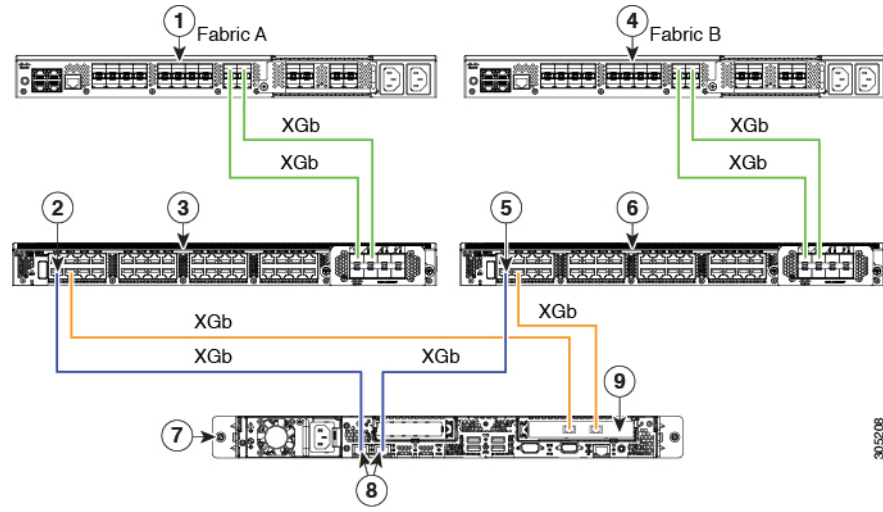
ステップ 6 サーバをリブートします。

クラスタ セットアップの物理的な接続の図

次の図は、C シリーズラックマウントサーバと Cisco UCS ドメイン、Cisco UCS Manager との物理接続の例を示しています。

次の図は、C シリーズラックマウントサーバと Cisco UCS Manager を統合する場合の配線構成を示しています。青色で示されたパスでは、管理トラフィックが伝送されます。ゴールドで示されたパスでは、データ トラフィックが伝送されます。

図 14: クラスタ セットアップの配線構成



(注) XGb は 40 ギガビットイーサネット接続または 10 ギガビットイーサネット接続を表します。10 ギガビットイーサネットの場合、次のケーブルが使用されます。

- 4 X 10 ブレークアウト Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブル
- 4 X 10 アクティブ光ケーブル (OAC)
- Qualified Security Assessor (QSA) モジュールを使用する 10G Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブル

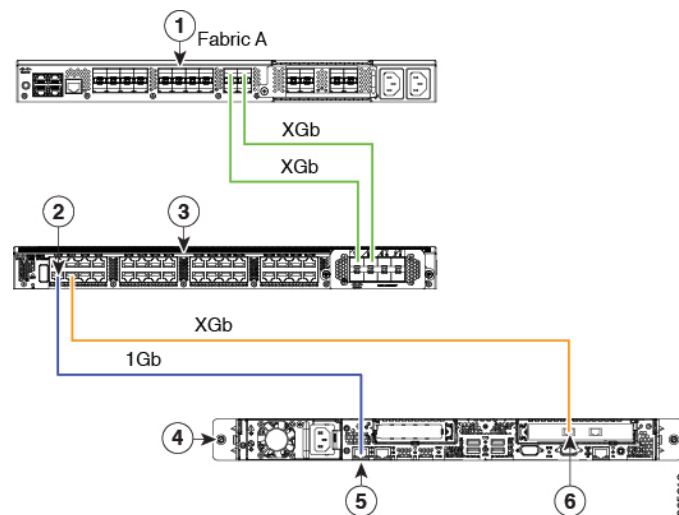
1	Cisco UCS 6200 シリーズまたは 6300 FI (ファブリック A)	6	Cisco Nexus 2232PP、Cisco Nexus 2232TM-E、または Cisco Nexus 2348UPQ FEX (ファブリック B)
2	FEX ポートの GLC-T トランシーバ (ファブリック A)	7	C シリーズ ラックマウント サーバ
3	Cisco Nexus 2232PP、Cisco Nexus 2232TM-E、または Cisco Nexus 2348UPQ FEX (ファブリック A)	8	1 Gb イーサネット LOM ポート
4	Cisco UCS 6200 シリーズまたは 6300 FI (ファブリック B)	9	サポート対象 PCIe または MLOM スロット内の 10 Gb アダプタ カード
5	FEX ポートの GLC-T トランシーバ (ファブリック B)		

C シリーズ サーバと UCS ドメインとの非クラスタ セットアップでの接続

C シリーズ サーバと UCS ドメインを接続する場合は、[C シリーズ サーバと UCS ドメインとの非クラスタ セットアップでの接続 \(49 ページ\)](#) で説明されているのと同じ手順を実行します。ただし、2つの FI と 2つの FEX を接続する代わりに、1つの FI と 1つの FEX のみ接続します。

図 15: デュアルワイヤの非クラスタ セットアップの例

次の図は、デュアルワイヤ管理の非クラスタ セットアップの例です。



(注) XGb は 40 ギガビットイーサネット接続または 10 ギガビットイーサネット接続を表します。10 ギガビットイーサネットの場合、次のケーブルが使用されます。

- 4 X 10 ブレークアウト Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブル
- 4 X 10 アクティブ光ケーブル (OAC)
- Qualified Security Assessor (QSA) モジュールを使用する 10G Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブル

1	Cisco UCS 6200 シリーズまたは 6300 FI (ファブリック A)	4	Cisco UCS C シリーズ サーバ
2	FEX ポートの GLC-T トランシーバ (ファブリック A)	5	1 Gb イーサネット LOM ポート

3	Cisco Nexus 2232PP、Cisco Nexus 2232TM-E、または Cisco Nexus 2348UPQFEX（ファブリック A）	6	サポート対象 PCIe スロット内の Cisco UCS VIC アダプタ
---	--	---	---------------------------------------

統合後の Cisco UCS Manager でのラックマウント型サーバの管理

Cisco UCS ドメイン と統合されているすべてのラックマウント サーバを、Cisco UCS Manager によって管理し、モニタリングできます。統合後は、ラックマウントサーバの管理タスクはすべて Cisco UCS Manager GUI または Cisco UCS Manager CLI のサービス プロファイルからのみ実行します。Cisco UCS Manager によるサーバの管理を開始すると、C シリーズ ラックマウントサーバ Cisco IMC は使用できなくなります。

Cisco UCS Manager は、検出された各ラックマウントサーバに関する情報、エラー、および障害を提供します。

Cisco UCS Manager からの C シリーズ ラックマウントサーバ C-Series Rack-Mount Servers の管理の詳細については、使用しているリリースの『[Cisco UCS Manager Configuration Guide](#)』の「Managing Rack-Mount Servers」の章を参照してください。

サーバを Cisco UCS ドメイン モードからスタンドアロンモードへ戻す方法

Cisco UCS Manager ソフトウェアを使用して Cisco UCS C シリーズサーバを管理すると、そのサーバに UCS Manager サービス プロファイルが関連付けられます。C シリーズサーバをスタンドアロンモードに戻す（すなわち Cisco IMC ソフトウェアで管理できるようにする）場合は、UCS Manager で次の処理を行う必要があります。

-
- ステップ 1 サーバへの UCS Manager サービス プロファイルの関連付けを解除する。
 - ステップ 2 アダプタからの接続を削除します。
 - ステップ 3 手動でサーバの電源オンします。
 - ステップ 4 前面パネル KVM 接続を接続します。
 - ステップ 5 ブート中にアップ **F8** キーを押します。
 - ステップ 6 CIMC を工場出荷時の初期状態またはスタンドアロンモードにリセットします。

注意 サーバへのサービスプロファイルの関連付けを解除しなかった場合、UCS Manager によって割り当てられた MAC および WWN 番号が引き続きサーバで維持されることがあります。これによって番号付けが重複し、UCS Manager で管理されている他のサーバとの間で競合が生じる可能性があります。さらに、サービスプロファイルの関連付けを解除せずにサーバをスタンドアロンモードに戻した場合、そのスタンドアロンサーバでは LSI RAID コントローラがブート可能デバイスとして表示されないため、ローカルでの再起動ができなくなります。

統合型サーバに関する特記事項

Cisco UCS システムの C シリーズサーバに接続する場合は、次の点を確認してください:

- [統合サーバでの Cisco UCS VIC ファームウェアと uboot イメージの更新 \(100 ページ\)](#)
- [統合されたサーバの電源の状態とサービスプロファイルの電源の状態 \(92 ページ\)](#)
- [アダプタカードの注意事項と制約事項 \(93 ページ\)](#)
- [FEX の考慮事項 \(93 ページ\)](#)

サポートされている FEX-to-FI のアップリンク ケーブルの SFP タイプ

C シリーズ UCSM の統合には、次の用途で 10 Gb SFP ケーブルが 6 本必要です。

- サーバと FEX との間のデータトラフィックのパスの接続：ケーブル 2 本
- FEX から FI へのアップリンク：ケーブル 4 本

FEX から FI への 4 つのアップリンクでは、Cisco 10 Gb Twinax ケーブルか、次の SFP タイプのいずれかを使用できます。

- SFP-10GE-SR
- FET-10GE



注意 アップリンクで SFP タイプを混在使用しないでください。アップリンクで SFP のタイプを混在させると、「Discovery failed」のエラーが発生します。

統合されたサーバの電源の状態とサービスプロファイルの電源の状態

電源ボタンまたは Cisco UCS Manager を使用して、統合された C シリーズサーバの対応するサービスプロファイルに希望する電源の状態を Down と設定している場合、サーバを停止させて Down 状態にしようとする、サーバと実際の電源の状態が一致なくなります。これにより、この後、サーバが予期せずシャットダウンすることがあります。

電源がオフの状態からサーバを安全に再起動するには、Cisco UCS Manager でブート サーバアクションを使用します。

次の表は、サーバの電源ボタンを使用した場合に、サーバの実際の電源状態と Cisco UCS Manager サービス プロファイルの電源状態がどのように違うかを示しています。

表 31: サーバの電源の状態とサービス プロファイルの電源の状態の違い

サービス プロファイルの初期電源状態	サーバの初期電源状態	実際の電源ボタンによる操作	アクション後の実際のサーバの電源状態	[UCSM Equipment] タブに表示される電源状態	サービス プロファイルで必要とされる電源状態
ダウン	Off	ボタンを押して電源を入れる	オン	オン	下へ
上へ	On	ボタンを押して電源を切る	消灯	消灯	アップ

アダプタ カードの注意事項と制約事項

Cisco UCS C シリーズ サーバと Cisco UCS Manager との統合でアダプタ カードを使用する場合は、次の点を検討してください。

- Cisco UCS Manager では、サーバに PCI スロットが 5 つ以上ある場合でも、統合された Cisco UCS C シリーズ サーバでは 4 つの UCS 管理対象アダプタ カードのみサポートされます。サーバに 5 つ以上のアダプタ カードが搭載されている場合、統合後に、Cisco UCS Manager でのラック サーバの検出が失敗します。
- UCS で管理されるサーバでアダプタ カードの追加、削除、または交換を行う場合は、まず Cisco UCS Manager でサーバの稼働を中止する必要があります。処理が終了したら、サーバを再稼働させます。
- クラスタ UCS Manager 環境にあるサーバの各アダプタに複数のアダプタを装着する場合は、各アダプタをパス A と B の両方に接続する必要があります。アダプタの両方のポートを単一のパスに接続しようとする、サポート対象外の構成であるために検出が失敗します。各アダプタからファブリックに 1 つのリンクのみ接続しようとする、カード障害時にサーバが再起動して、データパスが再検出されることがあります。これらのシナリオはいずれも、接続オプションではサポートされていません。

FEX の考慮事項

FEX の稼働中止/再稼働後の接続先サーバの再確認

Cisco UCS FEX の稼働中止または再稼働後は、必ずその FEX に接続されているすべてのサーバを UCS Manager で再確認する必要があります。



第 5 章

アップグレードに必要な項目

次に、最低のサーバー CIMC バージョンおよび Cisco UCS Manager バージョンの要件を示します。C シリーズ サーバーと Cisco UCS Manager との統合へのアップグレードに対するものです。

サーバ	Cisco IMC	BIOS	UCS Manager
Cisco UCS C22 M3 サーバ	1.4(6)	1.4.7a	2.1(2a)
Cisco UCS C24 M3 サーバ	1.4(6)	1.4.7a	2.1(2a)
Cisco UCS C220 M3 サーバ	1.4(6)	1.4.7a	2.1(2a)
Cisco UCS C220 M4 サーバ (2.2.3 以降が 必要)	2.0(3d)	2.0.3	2.2(3a)
Cisco UCS C240 M3 サーバ	1.4(6)	1.4.7a	2.1(2a)
Cisco UCS C240 M4 サーバ (2.2.3 以降が 必要)	2.0(3d)	2.0.3	2.2(3a)
Cisco UCS C420 M3 サーバ	1.4(7)	1.4.8	2.1(2a)
Cisco UCS C460 M4 サーバ	1.5(7a)	1.5.7	2.2(2a)
Cisco UCS C220 M5 サーバ	3.1.1d	3.1.1i.0	3.2(1d)
Cisco UCS C240 SD M5 サーバ	4.1(2a)	4.1(2a)	4.1(2a)

サーバ	Cisco IMC	BIOS	UCS Manager
Cisco UCS C480 M5 サーバ	3.1(2b)	3.1.2a.0	3.2(2b)
Cisco UCS C125 M5 サーバ	4.0(1a)	4.0(1a)	4.0(1a)
Cisco UCS C220 M6 サーバ	4.2(1d)	4.2(1d)	4.2(1d)
Cisco UCS C240 M6 サーバ	4.2(1d)	4.2(1d)	4.2(1d)
Cisco UCS C225 M6 サーバ	4.2(1i)	4.2(1i)	4.2(1i)
Cisco UCS C245 M6 サーバ	4.2(1i)	4.2(1i)	4.2(1i)



(注) Cisco UCS Manager リリース 4.2(1)以降、M3 サーバーはサポートされていません。M3 サーバーをサポートするには、Cisco UCS Manager リリース 4.1(x) またはそれ以前のリリースを使用している必要があります。

- C シリーズ サーバのファームウェアのアップグレード (96 ページ)
- 統合サーバでの Cisco UCS VIC ファームウェアと uboot イメージの更新 (100 ページ)
- リリース 3.1 以降への構成の移行 (102 ページ)

C シリーズ サーバのファームウェアのアップグレード

サーバの CIMC のリリースバージョンが Cisco UCS Manager との統合の要件を満たしていない場合は、サーバを Cisco UCS ドメインに接続する前に、サーバのファームウェアをアップグレードしてください。C シリーズサーバファームウェアのアップグレードの詳細については、次の URL にある対象リリースのホストアップグレードユーティリティクイックスタートガイドを参照してください。http://www.cisco.com/en/US/products/ps10493/products_user_guide_list.html [英語]



重要 Cisco UCS C220 M4 または C240 M4 サーバの C シリーズ サーバ ファームウェアを Cisco UCS Manager 2.2(6c) にアップグレードする場合は、次の重大なアラームが表示されます。

Board controller upgraded, manual a/c power cycle required on server x

CSCuv45173 に記載されているとおり、このアラームは誤って重大なアラームとして分類されています。このアラームはサーバの機能に影響を与えないため、無視しても構いません。

このアラームが表示されないようにするには、次のいずれかを行います。

- Cisco UCS Manager カスタム ホスト ファームウェア パッケージを作成して、ボードコントローラファームウェアを Cisco UCS Manager 2.2(6c) への更新から除外し、古いバージョンを保持します。
- Cisco UCS Manager インフラストラクチャ (A バンドル) をリリース 2.2(6c) にアップグレードし、『*Release Notes for Cisco UCS Manager, Release 2.2*』の表 2 の混在ファームウェアサポートマトリックスに従って、すべての Cisco UCS C220 M4 または C240 M4 サーバ上でホストファームウェア (C バンドル) を引き続き古いバージョンで実行します。

ステップ 1 HUU ISO ファイルをダウンロードします。

- <http://www.cisco.com/cisco/software/navigator.html> にアクセスします。
- 中央のカラムで、[Servers – Unified Computing] をクリックします。
- 右側のカラムで、[Cisco UCS C-Series Rack-Mount Standalone Server Software] をクリックします。
- 右側のカラムでサーバのモデル名を選択します。
- [Unified Computing System (UCS) Server Firmware] をクリックします。
- リリース番号を選択します。
- [Download Now] をクリックして `ucs-server_platform-huu-version_number.iso` ファイルをダウンロードします。
- 次のページで情報を確認後、[Proceed With Download] をクリックします。
- 次の画面に進んでライセンス契約に同意し、このファイルを保存する場所を参照します。

ステップ 2 ローカルアップグレード用に ISO を準備する場合は、このステップを完了するか、ステップ 3 に進みます。

- 書き込み可能なディスク (CD) に ISO イメージを書き込みます。
- VGA モニターと USB キーボードを Cisco C シリーズサーバに接続します。
- ディスクを Cisco C シリーズサーバの USB DVD ドライブに挿入します。
- ステップ 4 に進みます。

ステップ 3 KVM コンソールを使用してリモートアップグレードのために ISO を準備します。

- ブラウザを使用して、アップグレードするサーバ上の Cisco IMC GUI ソフトウェアに接続します。
- ブラウザのアドレスフィールドにサーバの Cisco IMC IP アドレスを入力し、次にユーザ名とパスワードを入力します。
- ツールバー上の [Launch KVM Console] をクリックして、**KVM コンソール** を起動します。

- d) **KVM** コンソールで、[Virtual Media] をクリックします。
- e) [Add Image] をクリックし、ucs-server-name-huu-version_number.iso file をクリックします。
- f) [Client View] 領域の [Mapped] カラムで、追加する ISO ファイルのチェックボックスをオンにし、マッピングが完了するまで待機します。
- g) ISO ファイルがマップ済みリモートデバイスとして現れたら、ステップ 4 に進みます。

ステップ 4 サーバーを起動し、[Boot Menu] 画面を開くよう求められたら、F6 を押します。

ステップ 5 [Boot Menu] 画面で、準備された ISO を選択します。

- ローカルアップグレードの場合は、物理または外部接続された CD/DVD デバイスを選択してから、[Enter] を押します。
- リモートアップグレードの場合は、[Cisco vKVM-Mapped vDVD1.22] を選択し、[Enter] を押します。

選択したデバイスからサーバーがブートします。

ステップ 6 HUU をブートすると、Cisco End User License Agreement (EULA) が表示されるので、EULA を読み、

- [I Agree] をクリックしてライセンス契約書に同意し、更新を進めます。
- キャンセルする場合は [I Disagree] をクリックします。

EULA に同意すると、[Cisco Host Upgrade Utility] ウィンドウが表示され、更新が利用可能なすべてのコンポーネントのリストが表示されます。

ステップ 7 リストされたすべてのコンポーネントを更新する場合は、[Update all] をクリックします。

- (注)
- バージョン 1.5(11) 以前から、またはバージョン 1.5.3 から 2.0(x) に更新する場合は、Cisco IMC のアクティブなバージョンとバックアップバージョンの両方が 2.0(x) に更新されます。
 - 更新中に KVM 接続が切断されるため、更新の進行状況を表示するには再接続する必要があります。

ステップ 8 リストの特定のコンポーネントを更新する場合は、更新するコンポーネントを選択します。

ステップ 9 [Update] をクリックします。

- (注)
- あるコンポーネントのファームウェアを特に更新する場合を除き、[Update all] オプションを使用してすべてのコンポーネントのファームウェアを更新することを推奨します。
 - 3 つのコンポーネント (BIOS、Cisco IMC、または CMC) のいずれかのファームウェアを更新する場合は、他の 2 つのコンポーネントのファームウェアも更新することをお勧めします。
 - Cisco IMC ファームウェアを更新する場合は、[Exit (終了)] をクリックし、[OK] をクリックして cisco imc ファームウェアをアクティブにします。
 - Cisco IMC と他のコンポーネントを一緒に更新することを選択し、BIOS を選択していない場合は、終了時に **シャーシ ファームウェア** を更新するよう求めるプロンプトが表示されるので、確認ダイアログボックスで [Yes] をクリックしてシャーシファームウェアを更新します。

これにより更新が開始され、更新のステータスが、[Update Status] カラムに表示されます。また、ファームウェアの更新中は、[Execution Logs] セクションに、関連する一連のアクティビティとステータスの詳細なログが表示されます。

ステップ 10 サーバのハードディスクのファームウェアを更新する場合は、[Update HDD Firmware] をクリックします。ウィンドウに新しいファームウェアをサポートするサーバのハードディスク ドライブのリストが表示されます。ファームウェアのアップグレードをサポートしていないハードディスク ドライブは表示されません。

重要 ハードディスク ドライブのファームウェアを更新すると、データ損失が発生する可能性があります。ファームウェアを更新する前に完全なシステム バックアップを作成することをお勧めします。

a) すべてのハードディスクのファームウェアを更新するには、[Update All] をクリックします。

このオプションでは、最新のファームウェアがインストールされた HDD は更新されません。

b) 特定の HDD を更新するには、HDD を選択し、[Update] をクリックします。

ステップ 11 サーバをリブートします。

ステップ 12 サーバをリブートして、[Last Update Verify] をクリックし、更新が正常に完了したかどうかを確認します。

このアクションは、各コンポーネントで、以前 HUU を使用して更新されたファームウェアのバージョンと、コンポーネントのファームウェアの現在のバージョンを比較し、更新のステータスを表示します。

ステップ 13 更新ステータスのログ ファイルを後で使用できるように保存する場合は、[Save Logs] をクリックします。

更新の詳細なステータスを含むログ ファイルは、サーバに物理的または KVM vMedia 経由で接続されている外部 USB デバイスに保存されます。

(注) ファームウェアの更新中にエラーが発生すると、エラー ログを保存するよう求められます。接続された外部 USB にログを保存する場合は、[Save Logs] をクリックします。このログは、エラーの原因の特定とトラブルシューティングに使用できます。

ステップ 14 HUU を終了する場合は、[Exit] をクリックします。

(注)

- Cisco IMC を更新し、BIOS を更新していない場合、[Exit (終了)] をクリックすると、cisco imc がアクティブになり、cisco IMC および KVM への接続が失われます。
- 更新用に LOM を選択しており、Shared LOM モードである場合は、[Exit (終了)] をクリックすると Cisco IMC と KVM への接続が切断されます。

次のタスク

サーバを互換性のあるサーバリリースバージョンへアップグレードした後、Cisco UCS ドメインの一部としてサーバへの物理的接続を確立する必要があります。Cisco UCS FEX および FI にサーバを接続するには、SingleConnect の場合。

統合サーバでの Cisco UCS VIC ファームウェアと uboot イメージの更新

Cisco UCS VIC ファームウェアと uboot のバージョンが 2.0(2g) よりも前のバージョンの場合には、サーバと Cisco UCS Manager のいずれかのバージョンを統合すると、UCS Manager ソフトウェアから検出および関連付け/関連付け解除に関する障害が返されます。このような障害を防ぐために、次の操作を実行してください。

- サーバと UCS システムを統合する前に、VIC ファームウェアと uboot イメージを、スタンダードアロン モードで最低限必要な 2.0(2g) のレベルにアップグレードします。
- サーバがすでに統合されている場合は、UCS Manager ソフトウェアで VIC uboot イメージをアップグレードすることはできません。統合からサーバをいったん削除して、Cisco Host Upgrade Utility を使用してカードおよびサーバのファームウェアをアップグレードする必要があります。

次の手順では、サーバが Cisco UCS Manager と統合されているときにアップグレードするプロセスについて説明します。

-
- ステップ 1** UCS Manager によるサーバの稼働を中止します。
- ステップ 2** サーバの 1 Gb LOM ポートからケーブルを取りはずします。
- ステップ 3** LAN から 1 Gb LOM ポートのいずれか 1 つ（UCSM モードでディセーブルにした専用の管理ポート以外）にイーサネット回線を接続します。
- ステップ 4** お使いのサーバに対応する Host Upgrade Utility ISO ファイルのダウンロードをオンラインで検索し、ワークステーションの一時保存場所にダウンロードします。
- a) URL <http://www.cisco.com/cisco/software/navigator.html> を参照してください。
 - b) 中央のカラムで [Unified Computing and Servers] をクリックします。
 - c) 右側のカラムで [Cisco UCS C-Series Rack-Mount Standalone Server Software] をクリックします。
 - d) 右側のカラムでお使いのサーバのモデルをクリックします。
 - e) [Unified Computing System (UCS) Server Firmware] をクリックします。
 - f) ダウンロードするリリース番号をクリックします。
 - g) [Download Now] をクリックして ISO ファイルをダウンロードします。
 - h) 次のページで情報を確認後、[Proceed With Download] をクリックします。
 - i) 次の画面に進んでライセンス契約に同意し、ISO ファイルを保存する場所を指定します。
- ステップ 5** ISO を準備します。ローカルアップグレードの場合はローカルメディアを、リモートアップグレードの場合は仮想デバイスを準備します。

オプション	説明
ローカルアップグレード	<p>ステップ 3 に進む前に、次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 書き込み可能な DVD に ISO イメージを書き込みます。 VGA モニタと USB キーボードを Cisco C シリーズ サーバに接続します。 Cisco C シリーズ サーバの DVD ドライブまたは外付け DVD ドライブに DVD を挿入します。
リモートアップグレード	<p>ステップ 3 に進む前に、次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ブラウザを使用して、アップグレードしているサーバ上の CIMC Manager ソフトウェアに接続します。 ブラウザのアドレス フィールドにサーバの CIMC IP アドレスを入力し、次にユーザ名とパスワードを入力します。 KVM キーボードのアイコンをクリックして [KVM Console] ウィンドウを開きます。 Virtual KVM コンソール ウィンドウが開いたら、[Tools] > [Launch Virtual Media] を選択します。 [Virtual Media Session] ウィンドウで、[Add Image] をクリックし、ユーティリティ ISO ファイルを検索し、選択します。ISO をダウンロードした場所に移動します。ISO イメージが [Client View] 領域に表示されます。 [Virtual Media Session] ウィンドウで、追加した ISO ファイルに対応する [Mapped] カラムのチェックボックスを選択して、マッピングが完了するのを待ちます。[Details] 領域の進行状況を観察します。 これで ISO イメージがリモート デバイスにマッピングされました。

ステップ 6 サーバを起動し、[Boot Menu] 画面を開くためのメッセージが表示されたら、F6 を押します。

ステップ 7 [Boot Menu] 画面で、ステップ 2 で ISO を作成したデバイスを選択します。

- ローカルでアップグレードを行っている場合は、物理的な CD/DVD デバイスを選択し、Enter を押します (たとえば [SATA5:TSSCorp CDDVDW TS-L633C] など)。
- リモートでアップグレードを行っている場合は、[Cisco Virtual CD/DVD] を選択し、Enter を押します。

選択したデバイスからサーバがリブートされます。

ステップ 8 画面に BIOS と CIMC ファームウェアのバージョンが表示されます。プロンプト「Have you read the Cisco EULA (end user license agreement)?」に応答します。

- EULA に同意して更新を続ける場合は y を押します。

- EULA を読むには **n** を押します。EULA が表示され、更新を続けるには **y** を、キャンセルするには **n** を押すよう求められます。 **n** を押すと、更新を行わずにサーバが再起動されます。
- 更新を行わずに終了するには、 **q** を押します。 **q** を選択するとサーバが再起動されます。

[Host Upgrade Menu] 画面が表示されます。

- ステップ 9** [Update UCS VIC] オプションを選択します。カードファームウェアと uboot イメージが必要なレベルに更新されます。
- ステップ 10** [Update CIMC Firmware] オプションを選択します。CIMC ファームウェアが更新されます。
- ステップ 11** 次の画面でファームウェア レベルを確認します。
- ステップ 12** [Reboot the machine] オプションを選択します。
- ステップ 13** 再起動中に F8 プロンプトが表示されたら、F8 を押して CIMC Configuration Utility を開きます。
- ステップ 14** CIMC Configuration Utility で [CIMC Factory Default] オプションを選択し、F10 を押して変更内容を保存します。
- ステップ 15** FEX からサーバの 1 Gb LOM ポートにケーブルを再度接続します。
- ステップ 16** UCS Manager でサーバを再稼働させます。

リリース 3.1 以降への構成の移行

Cisco UCS C シリーズサーバが Cisco UCS Manager と統合されていて、検出され、サービスプロファイルと関連付けられている場合、構成を Cisco UCS Manager の後続バージョンに移行できます。



- (注)
- この移行プロセスではサーバのダウンタイムが発生します。
 - この手順では、サーバから FEX に接続する管理パスと FI に直接接続するデータパスがあるシナリオについて説明します。

- ステップ 1** サーバ OS をシャットダウンします。
- ステップ 2** Cisco UCS Manager で、Cisco UCS ドメイン からすべての C シリーズサーバを停止します。
- ステップ 3** 2248 FEX に接続されているすべての FI サーバポートの**構成を解除**します。
- NX-OS **show fex** コマンドを発行して、FEX の構成が解除されたことを確認します。コマンドの出力に FEX が表示されなくなるまで待ちます。
- ステップ 4** FEX と FI を接続するケーブルを取り外します。
- ステップ 5** Cisco UCS Manager CLI で、**remove fex fex_ID** コマンドを発行して、データベースから FEX を削除します。

- ステップ 6** Cisco UCS Manager GUI で、サーバのアダプタ カードに接続されているすべての FI サーバ ポートの構成を解除します。
- ステップ 7** FI とサーバのアダプタ カードを接続するケーブルを取り外します。
- ステップ 8** FEX とサーバの LOM コネクタを接続するケーブルを取り外します。
- ステップ 9** Cisco UCS Manager ソフトウェアを 3.1 以降に、FI ファームウェアを対応するレベルにアップグレードします。
- ステップ 10** 構成内の 2 番目のファブリック インターコネクタで、ステップ 3~9 を繰り返します。
- ステップ 11** C シリーズサーバをネットワークに直接接続し、スタンドアロン CIMC ユーティリティを使用してファームウェアをアップグレードします。
- LAN からのイーサネット回線を、サーバの 1 Gb LOM ポートのいずれかに接続します。専用の管理ポートは、Cisco UCS Manager 統合モードでは無効になっているため、使用しないでください。
 - 「[C シリーズサーバのファームウェアのアップグレード \(96 ページ\)](#)」の手順を実行してから、この手順の次のステップに進みます。
- ステップ 12** ラック内の Nexus 2248 FEX と Nexus 2232PP FEX を物理的に置き換えます。
- ステップ 13** 図に示されているようにケーブルを接続します（「[クラスタ セットアップの物理的な接続の図](#)」を参照）。
- この新しい構成では、データ パスと管理パスはいずれも、サーバから FEX に接続します。FEX と FI 間のバスでは、データ トラフィックと管理トラフィックの両方が伝送されます。
- 重要** NX-OS `show fex` コマンドを発行して、FEX を確認します。コマンドの出力に新しい Nexus 2232PP FEX が表示されるまで待ちます。FEX は対応する FI ファームウェア バージョンに自動的にアップグレードされます。
- ステップ 14** 両方のファブリック インターコネクタの配線が終了したら、停止した C シリーズ サーバを Cisco UCS Manager から再起動します。
- サーバが Cisco UCS Manager で検出されると、前に割り当てられていたサービス プロファイルが自動的にそのサーバと再度関連付けられます。
-



第 6 章

トラブルシューティング

この章は、次の内容で構成されています。

- [Cisco UCS Manager で統合された C シリーズ サーバのハードウェア コンポーネントの交換 \(105 ページ\)](#)
- [サーバ接続の変更 \(106 ページ\)](#)

Cisco UCS Manager で統合された C シリーズ サーバのハードウェア コンポーネントの交換

ハードウェアを Cisco UCS Manager で統合された C シリーズ サーバの管理型ファームウェア コンポーネントと交換すると、サーバの検出に失敗することがあります。この原因としては、ハードウェアのファームウェアの破損、またはハードウェア コンポーネントのファームウェアに互換性がないことが考えられます。次の手順を実行して、ハードウェア交換後にサーバファームウェアの破損や非互換性が原因で、サーバの検出が失敗しないようにします。

- ステップ 1** 右クリックして、[Server] -> [Server Maintenance] > [Decommission Server] の順に選択し、サーバを停止します。
- ステップ 2** VIC を FI (該当する場合は FEX) に接続しているケーブルを外します。
- ステップ 3** Cisco UCS Manager からサーバを取り外します。
 - a) [Equipment] > [Decommissioned] を選択します。
 - b) サーバを右クリックして、[Remove] クリックします。
- ステップ 4** サーバを再起動して、CIMC を工場出荷時の設定にリセットします。
- ステップ 5** サーバの MGMT ポートに 1G ケーブルを接続し、スタンドアロン アクセス用に設定します。
- ステップ 6** すべてのサーバファームウェアのイメージを再作成して、Cisco UCS Manager ファームウェア バンドルの CIMC バージョンとサーバを一致させます。
 - a) シスコのソフトウェア ダウンロード サイトから、Cisco UCS Manager でこのサーバに適用されるホストファームウェア パッケージに対応した CIMC バージョンの Host Upgrade Utility (HUU) をダウンロードします。

b) スタンドアロン KVM でサーバを起動し、HUU パッケージを実行します。

ファームウェアのアップグレードの詳細な手順については、前のステップでダウンロードした HUU CIMC バージョンに対応した『[Host Utility Upgrade User Guide](#)』を参照してください。

ステップ 7 サーバを再起動して、CIMC を工場出荷時の設定にリセットします。

ステップ 8 電源ケーブルを 30 秒間外します。

ステップ 9 アップリンク ケーブルを再接続します。

ステップ 10 電源ケーブルを接続して電源を入れます。

ステップ 11 Cisco UCS Manager にサーバが表示されることを確認します。表示されるまで数分かかることがあります。

ステップ 12 ラックサーバディスカバリ ポリシーが「ユーザ確認」に設定されている場合は、サーバが表示されたらサーバを再確認します。

サーバ接続の変更

Cisco UCS Manager 統合ラックサーバが接続されているポートのマッピングを維持します。

統合ラックサーバまたはシャーシのケーブルを別のファブリックインターコネクト (FI) ポートに移動する場合は、次の手順に従う必要があります。

ステップ 1 移動する必要があるラックサーバ（または、該当する場合は S3260 シャーシ）の供用を停止します。

- a) [ナビゲーション (Navigation)] ペインで [機器 (Equipment)] をクリックします。
- b) [機器 (Equipment)] > [ラック マウント ([Rack Mounts])] > [サーバ (Servers)] の順に展開します。 >
>
- c) 供用を停止するサーバを選択します。
- d) [作業 (Work)] ペインで、[全般 (General)] タブをクリックします。
- e) [Actions] 領域の [Server Maintenance] をクリックします。
- f) [Maintenance] ダイアログボックスで、次の手順を実行します。
 1. [デコミッション (Decommission)] をクリックします。
 2. [OK] をクリックします。

ノードが Cisco UCS 設定から削除されます。

ステップ 2 VIC を FI（該当する場合は FEX）に接続しているケーブルを外します。

ステップ 3 ケーブルを FI（該当する場合は FEX）の新しいポートに接続します。

ステップ 4 サーバ（または、該当する場合は S3260 シャーシ）を再稼働します。

- a) [ナビゲーション (Navigation)] ペインで [機器 (Equipment)] をクリックします。
- b) [作業 (Work)] ペインで [デコミッション (Decommissioned)] タブをクリックします。

- c) 供用を再開する各シャーシの行で、[リコミッション (Re-commission)] チェックボックスをオンにします。
- d) [変更の保存 (Save Changes)] をクリックします。

ステップ 5 Cisco UCS Manager にサーバが表示されることを確認します。表示されるまで数分かかることがあります。

ステップ 6 サーバの再稼動と検出の進行状況を、そのサーバの [FSM] タブでモニタします。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。